

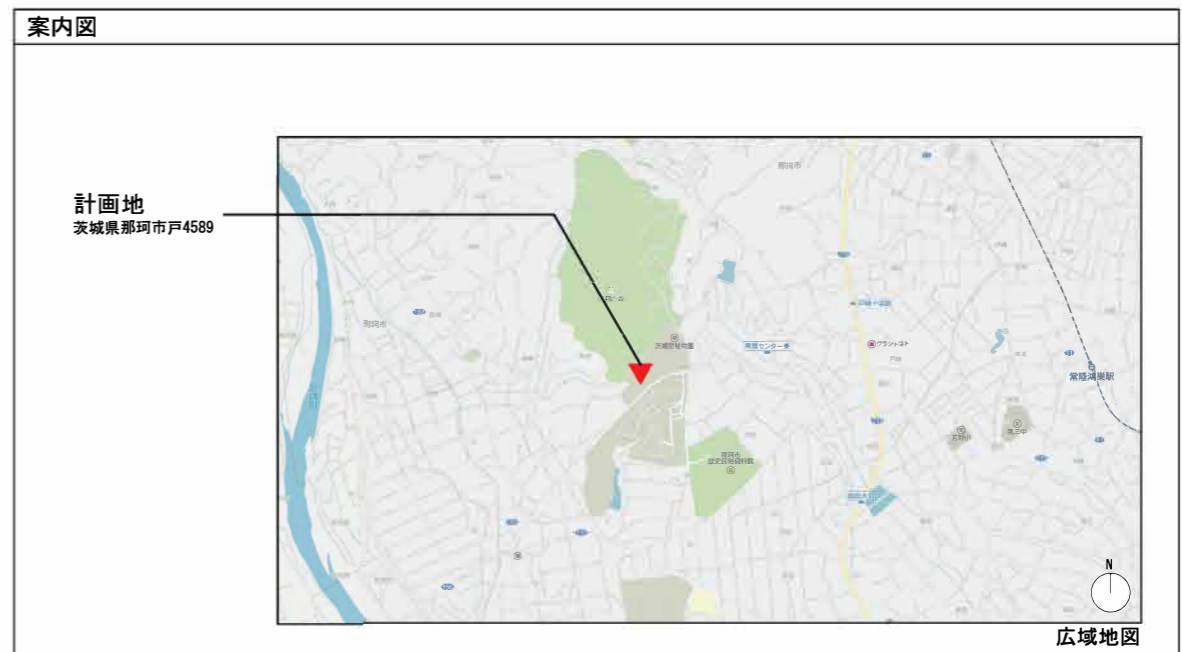
1. 工事名称	工事名称	茨城県植物園 熱帯植物館棟 改修工事	建築主	
	建設地	(住居表示) 茨城県那珂市戸4589 (地名地番) 茨城県那珂市戸字新堀4369番1	住所	〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6
	主要用途	温室	氏名	大井川和彦
	工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・室内装飾 用途変更を伴わない(小規模の模様替)・仮設建築・解体・移設・移転		

2. 敷地状況	開発面積 (敷地除外) 道路後退 ▲ 0.00㎡	建ぺい率	基準建ぺい率 60% → -% (角地緩和)
	敷地面積	25000㎡ (7562坪) 提供公園 ▲ 0.00㎡	容積率	基準容積率 200% → -% (道路幅員による制限)
	道路幅員	南側: 11.00m ・ 東側: 7.40m	日影規制	建築物高さが10mを超える建築物
	用途地域	・第1種低層住居専用・第1種低層住居専用・第1種中高層住居専用・第2種中高層住居専用 ・第1種住居・第2種住居・準住居・近隣商業・準工業・商業・工業・工業専用・用途地(未)指定なし	平均地盤面からの高さ	m
	防火地域	・防火・準防火・特定行政庁の指定地域(法22条区域)・指定なし	敷地境界線より5mを超え10m以内の範囲	時間内
	外壁後退	前面境界 m 隣地境界 m	敷地境界線より10mを超える範囲	時間内
	その他の地域区域	・都市計(画)区域内・都市計画区域外・市街化区域・市街化調整区域・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開発事業地区・特定街区・改良地区・文教地区(第 種)・非線引区域 ・風致地区(第 種)・高度地区(第 種)・駐車場整備地区・電波伝達障害防止地区・多雪地区・災害防止地区・緑地地区・土地区画整理事業地区 ・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他		

3. 構造・規模	構造	・SRC造・S造・RC造・PC造・鉄骨造・軽量鉄骨造・CB造・木造 ・その他()		階数	地下 0階 地上 1階 塔屋 0階
	構造形式	・ラーメン・壁・立体トラス・シェル・折板・軸組在来工法 ・その他()		最高高さ	
	基礎	・地盤支持(・ベタ・布・独立)・その他() ・杭支持(・RC杭・PC杭・アースドリル・ペント・深礎・その他)		駐車台数	- 台 附置義務: - 台
	建面積	2,225㎡	673.06坪	残面積	-㎡
	容積率	70%	建蔽率	70%	
	容積限度	2,693㎡	814.63坪	残面積	-㎡
	容積対象	-㎡	-坪	残面積	-㎡
	延べ面積	2,693㎡	814.63坪	レンドブル比	-% (専有面積/申請床面積)
	施工床	-㎡	-坪	容積率	400% (充足率: %)
	指導要綱				

種別	工事項目		備考	種別	工事項目		備考	種別	工事項目		備考	種別	工事項目		備考	
	含む	別途			含む	別途			含む	別途			含む	別途		
敷地造成	敷地造成			付属品	銘名板・表札			電気設備	受電			防災設備	非常用照明			
	地盤改良				表札板・文字				自家発電				(建築基準法)	防火戸制御装置		
	整地				黒板・掲示板				蓄電池					ガス漏れ警報		
	擁壁				郵便受				動力					避難計		
	排水				定礎板				電灯コンセント					換気設備		
	道路				収納箱				照明器具					録音設備		
	橋梁				可動家具				テレビ共同視聴					非常用エレベーター		
	護岸				固定椅子				電気錠					非常用出入口		
防溺設備			什器備品			セキュリティ				防災設備						
撤去工事	在来基礎撤去			カーテン			Wifi			(消防法)	自動火災報知					
	埋設物撤去			ブラインド			Web監視カメラ				非常警報					
	工作物撤去			ロールスクリーン							誘導灯					
				敷物・マット							誘導標識					
移設工事	在来建物移設			装飾物							非常放送					
	工作物移設										非常コンセント					
解体工事	解体工事										屋内消火栓					
											連絡送水管					
											スプリンクラー					
											化学消化					
外構	植樹造園			補償	日照影響			給排水	給水			衛生	給湯			
	舗装				電波障害				給湯					衛生器具		
	路面駐車場				騒音				給湯					ガス		
	門・塀				塵芥											
	盛土				近隣工作物											
	テラス				隣家補償											
工作物	パーゴラ							空気調和設備	暖房			衛生器具	洗面器			
	外灯								冷房				洗面器			
	境界手摺								換気				洗面器			
	看板								空気調和				洗面器			
	広告板							防災(録音)								
	広告看板															
	ネオン															
	遊戯施設															
	ゴンドラ															
	物干															

5. 別途工事	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	

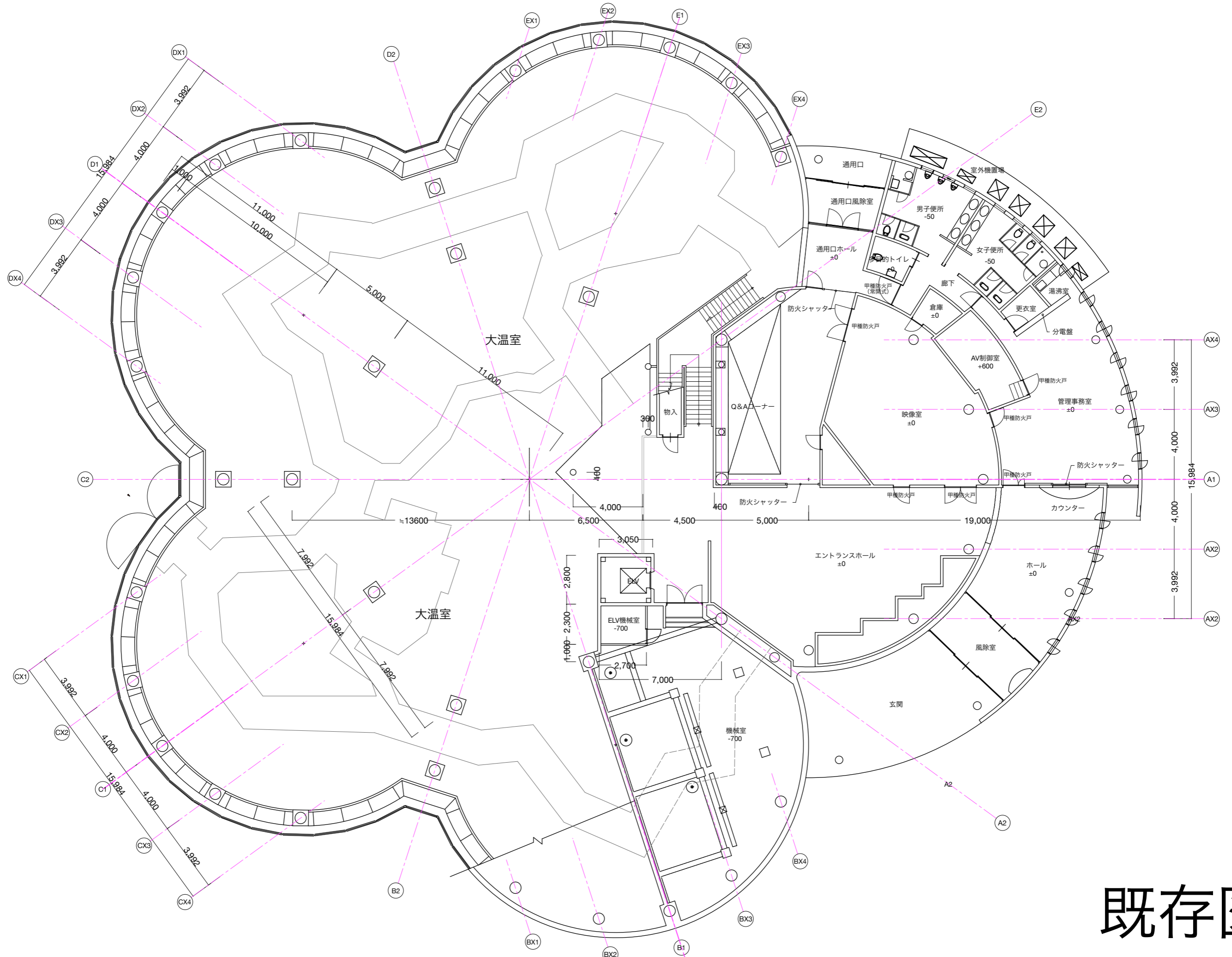


室名	床		巾木		壁			天井			床高 (FLより)	天井高	廻縁	カーテン BOX	ブラインド等	備考
	下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	不燃・準不燃・難燃	下地	仕上	不燃・準不燃・難燃						
風除室 (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43			RC	杉小幅板コンクリート打放し		LGS+PB12	岩綿吸音板(平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
ホール (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43	木製OS *一部	H=60	RC	杉小幅板コンクリート打放し		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		FL±0	2500	塩ビ			
エントランスホール (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43	一部コンクリート 打ち放し		RC	コンクリート打ち放し ラワン合板 防腐塗装 (キツデコル)		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット) 温室サッシ		FL±0					
映像室 (既存)	RC+モルタル下地	カーペットタイル t=6.5	木製OS	H=60	LGS+PB12	PB銘木化粧シート貼り t=9 アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		LGS+PB12	岩綿吸音板(平板) t=12		FL±0	2950	塩ビ			
展示用倉庫 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS	PB12		LGS	PB12		FL±0		塩ビ			
ELVホール (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43			LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット) 石綿珪カル板8+8ジヨリパット		LGS	溶接金網 2.6 50*50 焼付け塗装		FL±0	2700	塩ビ			
大温室 (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 *一部				温室サッシ ボンデ鋼板		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット) 温室サッシ&一部防水PB		FL±0	2500	塩ビ			
身障者WC (既存)	RC+モルタル下地	50角磁器モザイクタイル貼り			RC&CB	50角半磁器タイル貼り		LGS+PB12	岩綿吸音板(平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
男子WC (既存)	RC+モルタル下地	50角磁器モザイクタイル貼り			RC&CB	50角半磁器タイル貼り		LGS+PB12	岩綿吸音板(平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
女子WC (既存)	RC+モルタル下地	50角磁器モザイクタイル貼り			RC&CB	50角半磁器タイル貼り		LGS+PB12	岩綿吸音板(平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
管理事務所 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	RC	仕上げ無し(別途)		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL±0	2500	塩ビ	ST製		
廊下 (既存)	RC+モルタル下地	ゴムタイル t=4	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		FL±0	2500	塩ビ			
通用口 (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43			RC	モルタル金ゴテ仕上		RC	杉小幅板コンクリート打放し		FL±0	2500	塩ビ			
Q&Aコーナー (既存)	RC+モルタル下地+ フリアクセス床	ゴムタイル t=4	PVCソフト巾木	H=60	LGS	石綿珪カル板8+8ジヨリパット		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		FL±0	2500	塩ビ			
AV制御室 (既存)	RC+モルタル下地+ 鋼製床上げ	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	Vクロス貼り		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL+600	2350	塩ビ			
湯沸室 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	Vクロス貼り		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL±0	2500	塩ビ	ST製		
更衣室 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	Vクロス貼り		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL±0	2500	塩ビ			
倉庫 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS	PB12		LGS	石綿珪カル板 t=6		FL±0	2500	塩ビ			
機械室・ELV機械室 (既存)	RC+モルタル下地	モルタル金ゴテ仕上げ *一部防塵塗装			RC	吸音材		RC	コンクリート打放し 吸音材		FL-600 FL±0	3500 2250	塩ビ			
物入 (既存)	RC+モルタル下地	モルタル金ゴテ仕上げ			LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨリパット)		FL±0	2500				
2F (既存)	展示室 (既存)		天然石塗床			ア15 ラワン小板貼り 温室サッシ ボンデ鋼板			温室サッシ		2FL±0					
	ELVホール (既存)		天然石塗床						温室サッシ		2FL±0					
3F (既存)	展望室 (既存)		ゴムタイル t=4			温室サッシ					3FL±0	2867				
	階段 (既存)	鉄骨	ゴムタイル t=4						階段段裏SP塗装							

記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	備考
LGS	軽量鉄骨	SOP	合成樹脂調合ペイント	V	塩ビ製ジョイナー	St	鉄			設計図書に記載が無い事項についても、外観上・構造上・設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い施工するものとする。
CO	コンクリート	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	UE	二液型ポリウレタンエナメル塗装	AL	アルミニウム			壁面塗装は、よこれ防止タイプとする。特記無き限り、仕上・下地・接着に用いる材料はF☆☆☆☆とする事。
CB	コンクリートブロック	VE	ビニールペイント	UC	二液型ポリウレタンクリア塗装	SUS	ステンレス			欄柱の下地には間柱同等の下地を入れる事。MDFと明記のあるものは針葉樹MDFを使用する事。シナ合板にはシーラー処理を施す事。
SL	セルフレベルング	FU	フッ素樹脂塗装	SP	石材用強化材	HL	ヘアライン仕上			人の出入りのある開口部の見込みの下地にはシナ合板t12を使用し、ヒビ、割れ防止の処理の上、仕上げとする事。それ以外の出隅にはコーナービートを使用する事。
MO	モルタル	CL	クリアラッカー	GL	GL工法					特記無き限り、造作工事は大工工事とする。
PB	石膏ボード	OS	オイルステイン							間柱、筋交いは、コンセント・スイッチ・壁付けリモコン等のスイッチボックスをよけた位置に施工する事
ケイカル板	ケイ酸カルシウム板	NAD	弱溶剤7カ樹脂系非水分散形塗料							(壁下地を施工する前に位置を再確認し、間柱、筋交いにより、コンセント類がずれる事がない様に注意する事。施工上問題が生じる場合は必ず設計者へ確認する事。)

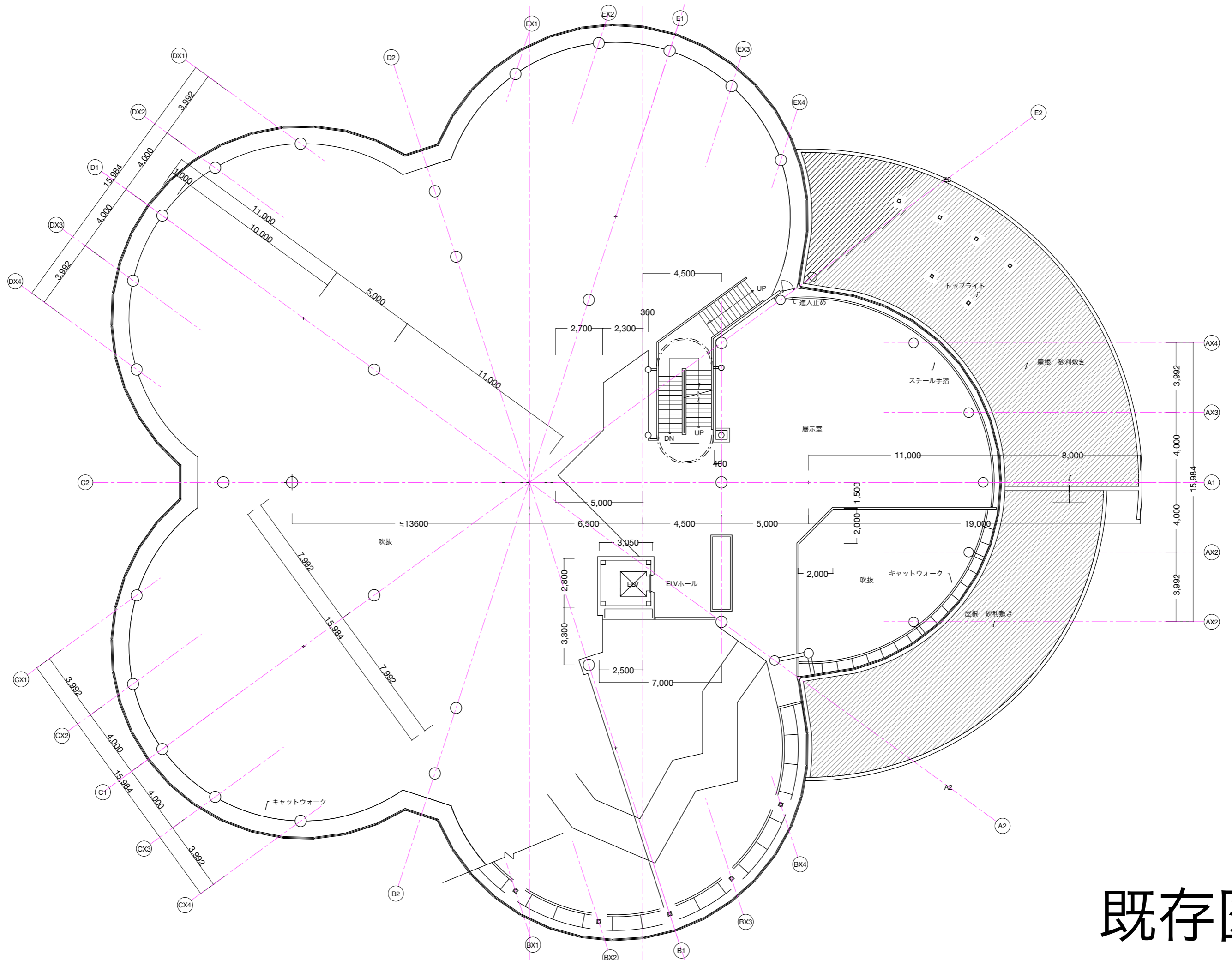
室名	床		巾木		壁			天井			床高 (FLより)	天井高	廻縁	カーテン BOX	ブラインド等	備考
	下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	不燃・準不燃・難燃	下地	仕上	不燃・準不燃・難燃						
風除室 (改修)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 既存洗浄清掃			RC	杉小幅板コンクリート打放し 既存洗浄清掃		LGS 一部新規	岩綿吸音板 t=12 PB12.5 2層貼		FL±0	2500	塩ビ			
ホール (改修) 用途変更併用	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 既存洗浄清掃	木製OS *一部 既存塗装補修	H=60	RC	杉小幅板コンクリート打放し 既存洗浄清掃		LGS 一部新規	岩綿吸音板 t=12 PB12.5 2層貼		FL±0	2500	塩ビ			ドリンクカウンター・厨房設置 *木部は県内産の木材を使用の事 サウナ受付カウンター設置 *木部は県内産の木材を使用の事
エントランスホール (改修)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 既存洗浄清掃	一部コンクリート 打ち放し 既存洗浄清掃		RC	コンクリート打ち放し 既存洗浄清掃 ラワン合板 防腐塗装 (キヤデール) 既存塗装補修		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット) 下地ボードより再構築 温室サッシ		FL±0					テーブル・椅子等設置
映像室 (既存)	RC+モルタル下地	カーペットタイル t=6.5	木製OS	H=60	LGS+PB12	PB銘木化粧シート貼り t=9 アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		LGS+PB12	岩綿吸音板 (平板) t=12		FL±0	2950	塩ビ			天井面に追加照明器具 (配線ダクトレール&スポットライト)
展示用倉庫 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS	PB12		LGS	PB12		FL±0		塩ビ			
ELVホール (改修)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 既存洗浄清掃			LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット) 既存塗装補修 石綿珪カル板8+8ジヨバット		LGS	溶接金網 2.6 50*50 焼付け塗装 既存塗装補修		FL±0	2700	塩ビ			
大温室 (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43 *一部				温室サッシ ボンデ鋼板		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット) 温室サッシ&一部防水PB		FL±0	2500	塩ビ			
身障者WC (既存)	RC+モルタル下地	50角磁器モザイクタイル貼り			RC&CB	50角半磁器タイル貼り		LGS+PB12	岩綿吸音板 (平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
男女WC (既存)	RC+モルタル下地	50角磁器モザイクタイル貼り			RC&CB	50角半磁器タイル貼り		LGS+PB12	岩綿吸音板 (平板) t=12		FL±0	2500	塩ビ			
管理事務所 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	RC	仕上げ無し (別途)		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL±0	2500	塩ビ			
新規厨房 (事務所一部改修) 用途変更	RC+モルタル下地	防水層形成の上均しモルタル 防水・防滑シート床材t=2.5	シート床材立上	H=200	LGS	カラーケイカル8 t 一部SUS板1.2 t 貼り 管理事務所側PB12.5+Vクロス		LGS	ケイカル6 t 目透かし貼り GP塗装仕上		FL+70	2430	塩ビ	ST製		調理厨房設備一式設置
廊下 (既存)	RC+モルタル下地	ゴムタイル t=4	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		FL±0	2500	塩ビ			
通用口 (既存)	RC+モルタル下地	ミッドランドブリックt=43			RC	モルタル金ゴテ仕上		RC	杉小幅板コンクリート打放し		FL±0	2500	塩ビ			
Q&Aコーナー (既存) 廊下	RC+モルタル下地+ フリースアクセス床	ゴムタイル t=4 既存洗浄清掃	PVCソフト巾木	H=60	LGS	石綿珪カル板8+8ジヨバット		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		FL±0	2500	塩ビ			
サウナ脱衣室・倉庫 (O&Aコーナー改修) 用途変更含む	RC+モルタル下地+ フリースアクセス床	床レベル調整の上 新規長尺シート貼り t=2.5	PVCソフト巾木	H=60	LGS	耐水PB12.5+AP塗装仕上		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		FL±0	2500	塩ビ			脱衣所内にユニットシャワー設備一式設置
AV制御室 (既存)	RC+モルタル下地+ 鋼製床上げ	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	Vクロス貼り		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL+600	2350	塩ビ	ST製		
湯沸かし室・更衣室 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS+PB12	Vクロス貼り		LGS+PB12	Vクロス貼り		FL±0	2500	塩ビ			
倉庫 (既存)	RC+モルタル下地	PVCタイル t=2	PVCソフト巾木	H=60	LGS	PB12		LGS	石綿珪カル板 t=6		FL±0	2500	塩ビ			
機械室・ELV機械室 (既存)	RC+モルタル下地	モルタル金ゴテ仕上げ *一部防塵塗装			RC	吸音材		RC	コンクリート打放し 吸音材		FL-600 FL±0	3500 2250	塩ビ			
物入 (既存)	RC+モルタル下地	モルタル金ゴテ仕上げ			LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		LGS+PB12	アクリル系砂状吹付仕上 (ジヨバット)		FL±0	2500				
2F (既存)	サウナエリア (展示室の一部改修) 用途変更含む	天然石塗床 既存洗浄清掃				ア15 ラワン小板貼り 温室サッシ ボンデ鋼板			温室サッシ		2FL±0					パーティション及び入口ゲート設備一式設置 電気式サウナ設備一式設置 水風呂設備一式設置 ソファベッド配置
	展示室	天然石塗床 既存洗浄清掃				温室サッシ ボンデ鋼板			温室サッシ		2FL±0					ハイカウンター配置 *木部は県内産の木材を使用の事
	ELVホール (改修)	天然石塗床 既存洗浄清掃							温室サッシ							ハイカウンター他テーブル・チェア等配置 *木部は県内産の木材を使用の事
3F (既存)	展望室 (既存)	ゴムタイル t=4				温室サッシ					3FL±0	2867				
	階段 (既存)	鉄骨	ゴムタイル t=4						階段裏面SP塗装							

記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	記号	材質・仕上	備考
LGS	軽量鉄骨	SOP	合成樹脂調合ペイント	V	塩ビ製ジョイナー	St	鉄			設計図書に記載が無い事項についても、外観上・構造上・設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い施工するものとする。
CO	コンクリート	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	UE	二液型ポリウレタンエナメル塗装	AL	アルミニウム			壁面塗装は、よごれ防止タイプとする。特記無き限り、仕上・下地・接着に用いる材料はF☆☆☆☆とする事。
CB	コンクリートブロック	VE	ビニールペイント	UC	二液型ポリウレタンクリア塗装	SUS	ステンレス			欄柱の下地には間柱同等の下地を入れる事。MDFと明記のあるものは針葉樹MDFを使用する事。シナ合板にはシーラー処理を施す事。
SL	セルフレベルリング	FU	フッ素樹脂塗装	SP	石材用強化材	HL	ヘアライン仕上			人の出入りのある開口部の見込みの下地にはシナ合板t12を使用し、ヒビ、割れ防止の処理の上、仕上げとする事。それ以外の出隅にはコーナービートを使用する事。
MO	モルタル	CL	クリアラッカー	GL	GL工法					特記無き限り、造作工事は大工工事とする。
PB	石膏ボード	OS	オイルステイン							間柱、筋交いは、コンセント・スイッチ・壁付けリモコン等のスイッチボックスをよけた位置に施工する事。
ケイカル板	ケイ酸カルシウム板	NAD	弱溶剤7A7樹脂系非水分散形塗料							(壁下地を施工する前に位置を再確認し、間柱、筋交いにより、コンセント類がずれる事がない様に注意する事。施工上問題が生じる場合は必ず設計者へ確認する事。)



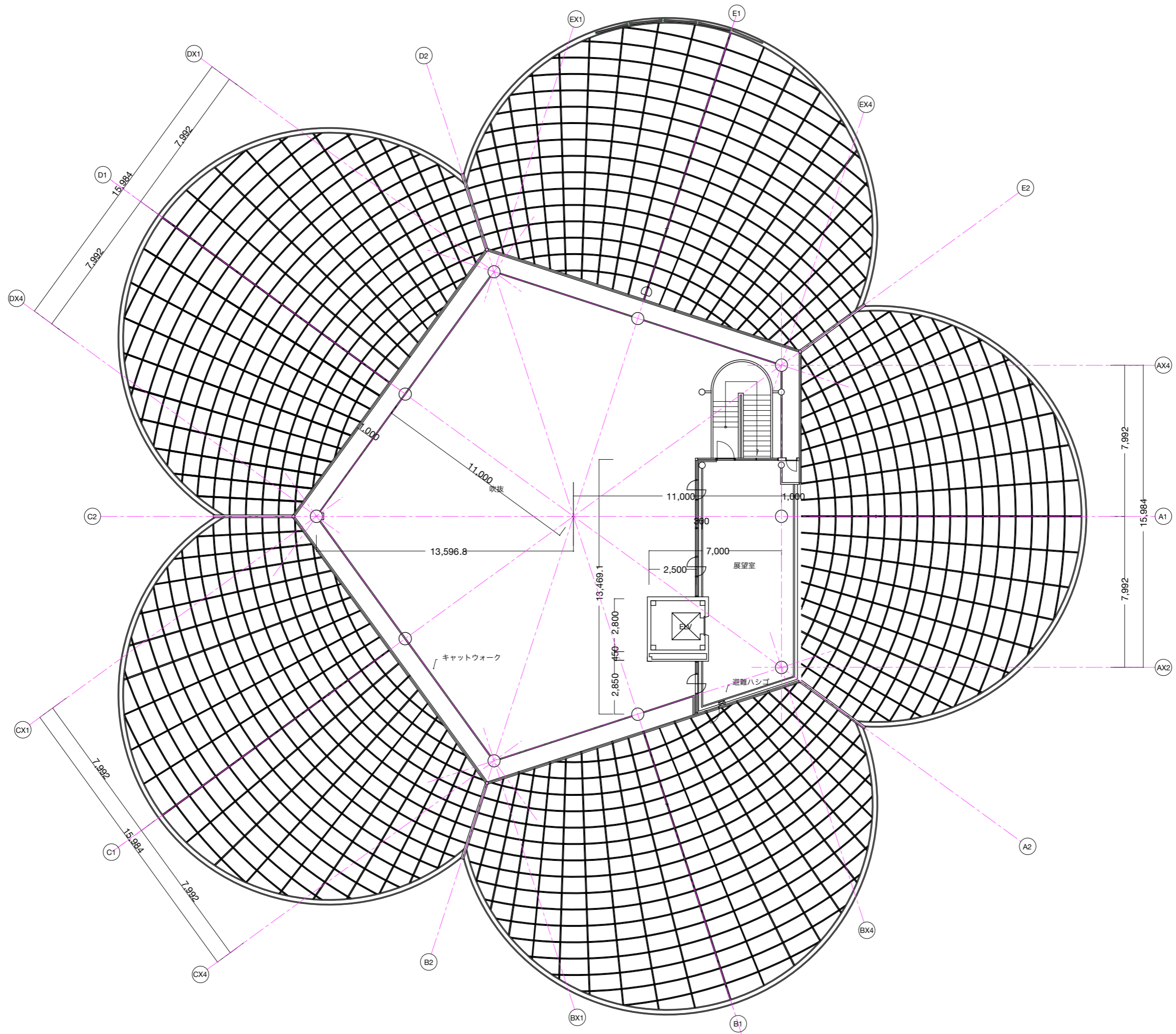
既存図

SEMBA 株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	NOTE 作成	DATE REVISION 2024/03/06	NOTE	DATE REVISION	DESIGNED	CHECKED H.MARUYAMA	TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)改修計画	SUBJECT 1F平面図 (既存)	SCALE S=1/200	NO. A-05
	DATE 2024/03/26	DRAWN	DATE 2024/03/26							



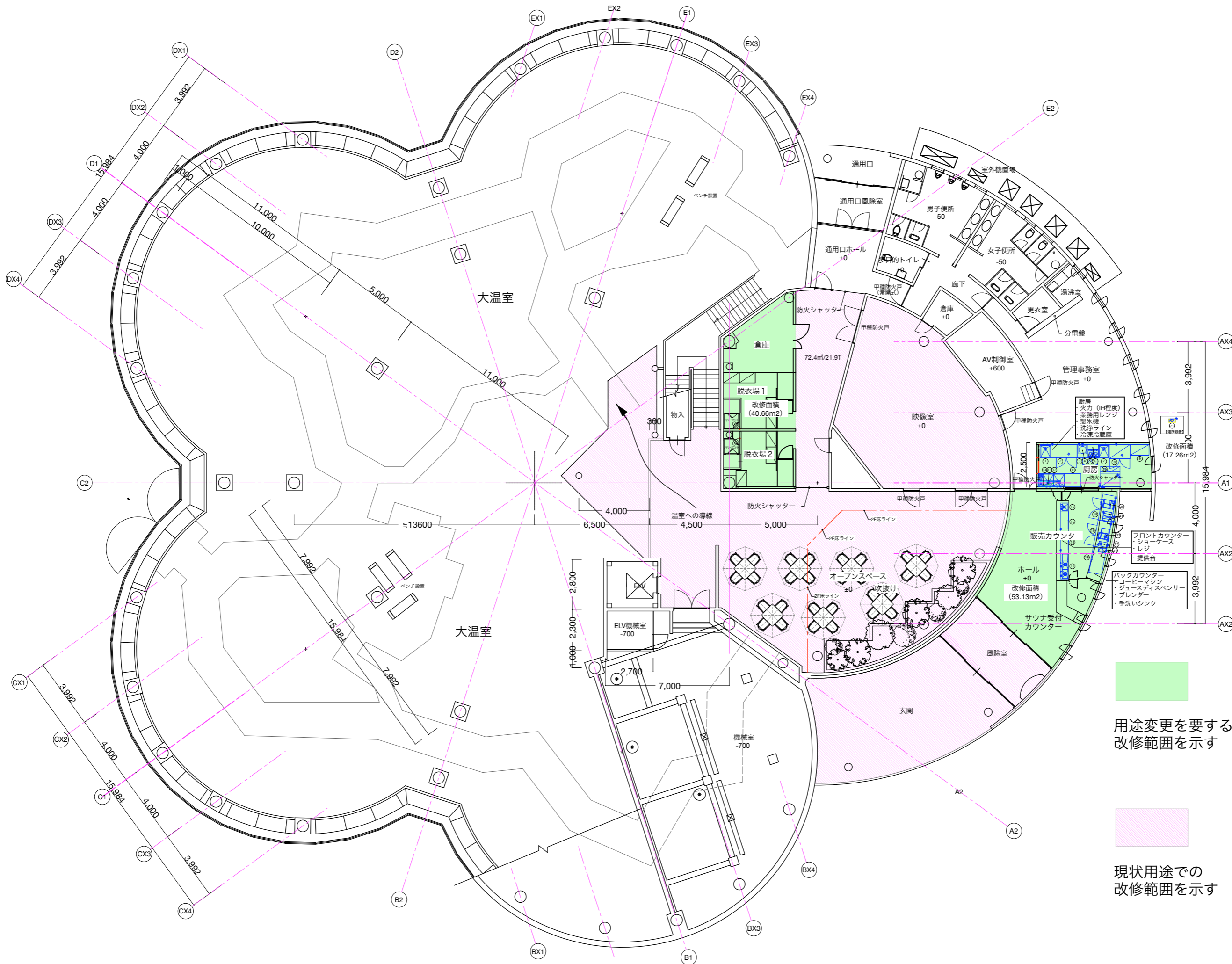
既存図

SEMBA 株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	NOTE 作成	DATE REVISION 2024/03/06	NOTE	DATE REVISION	DESIGNED	CHECKED H.MARUYAMA	TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ポタニカルカフェ(熱帯植物園)改修計画	SUBJECT 2F平面図 (既存)	SCALE S=1/200	NO. A-06
	DRAWN	DATE 2024/03/26								



既存図

SEMBA 株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	NOTE 作成	DATE REVISION 2024/03/06	NOTE	DATE REVISION	DESIGNED	CHECKED H.MARUYAMA	TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)改修計画	SUBJECT 3F平面図 (既存)	SCALE S=1/200	NO. A-07
	DRAWN	DATE 2024/03/26								

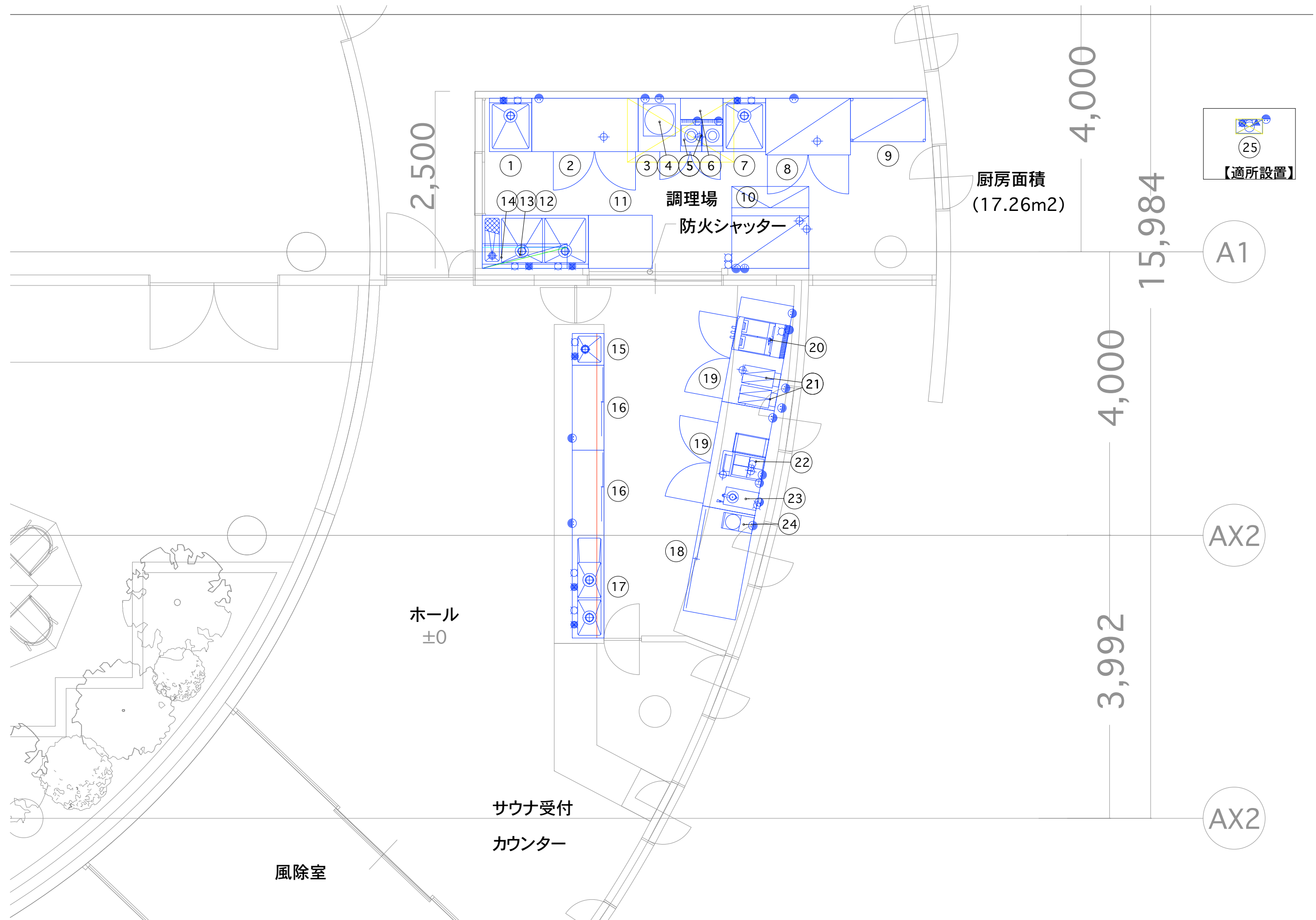


使用用途変更を行う改修範囲
床面積

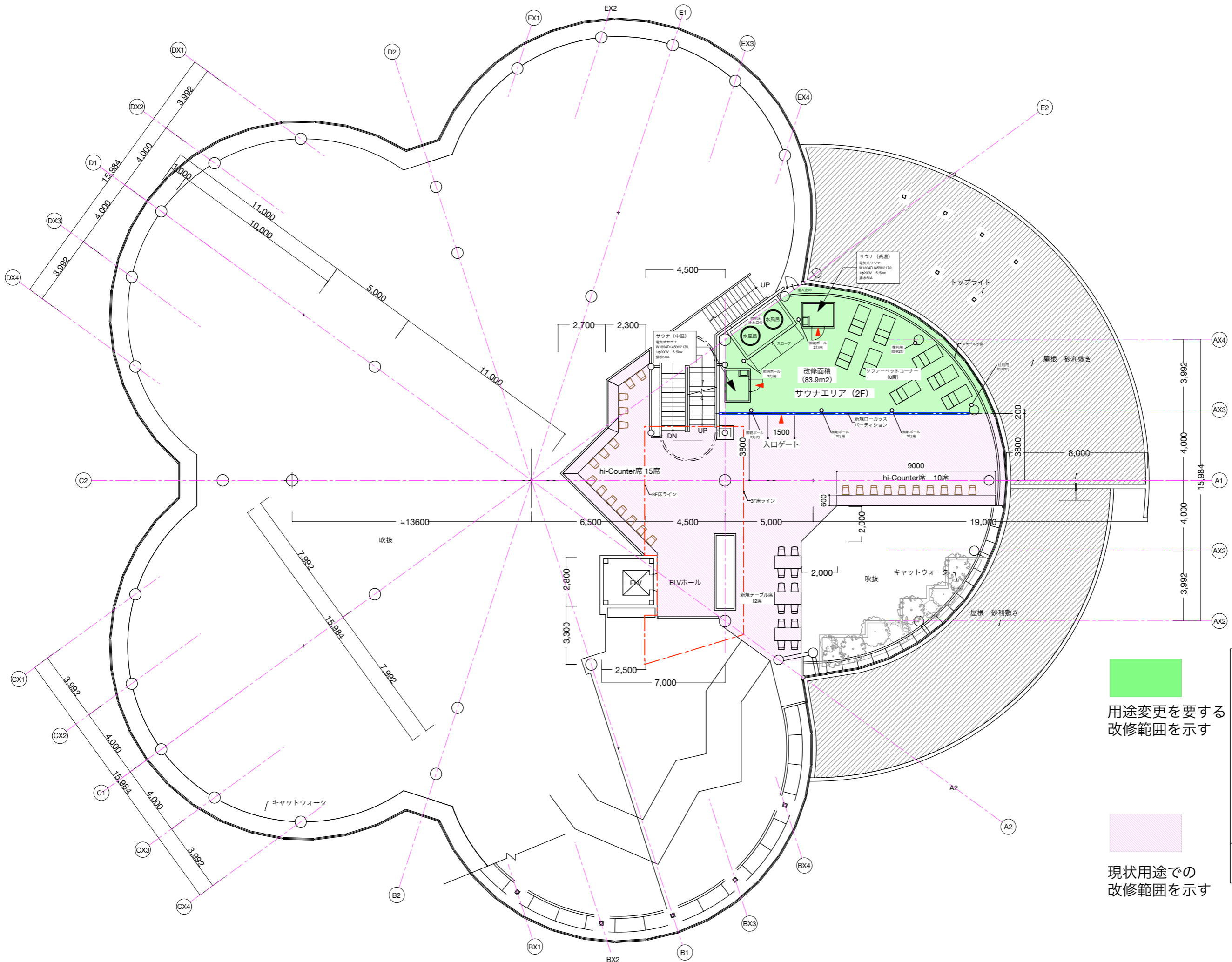
用途変更を要する
改修範囲を示す

現状用途での
改修範囲を示す

使用用途変更を行う改修範囲 床面積	
1F	
ホール	53.13m ²
調理場	17.26m ²
倉庫・脱衣場	40.66m ²
2F	
サウナエリア	80.39m ²
1F+2F合計	191.44m ²
191.44m ² < 200m ² OK	
今回は下記基準に値しない床面積となるので 確認申請における用途変更は不要とする	
建築基準法第6条1項1号別表第一(イ)欄に 掲げる用途に供する特殊建築物で その用途に供する部分の床面積の合計が 二百平方メートルを超えるもの	



SEMBA	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE 作成	■DATE REVISION 2024/03/26	■NOTE	■DATE REVISION	■DESIGNED	■CHECKED H.MARUYAMA	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ポタニカルカフェ(熱帯植物園)改修計画	■SUBJECT 1F厨房部平面図 (拡大)	■SCALE S=1/50	■NO. A-08-1
					■DRAWN	■DATE 2024/03/26					

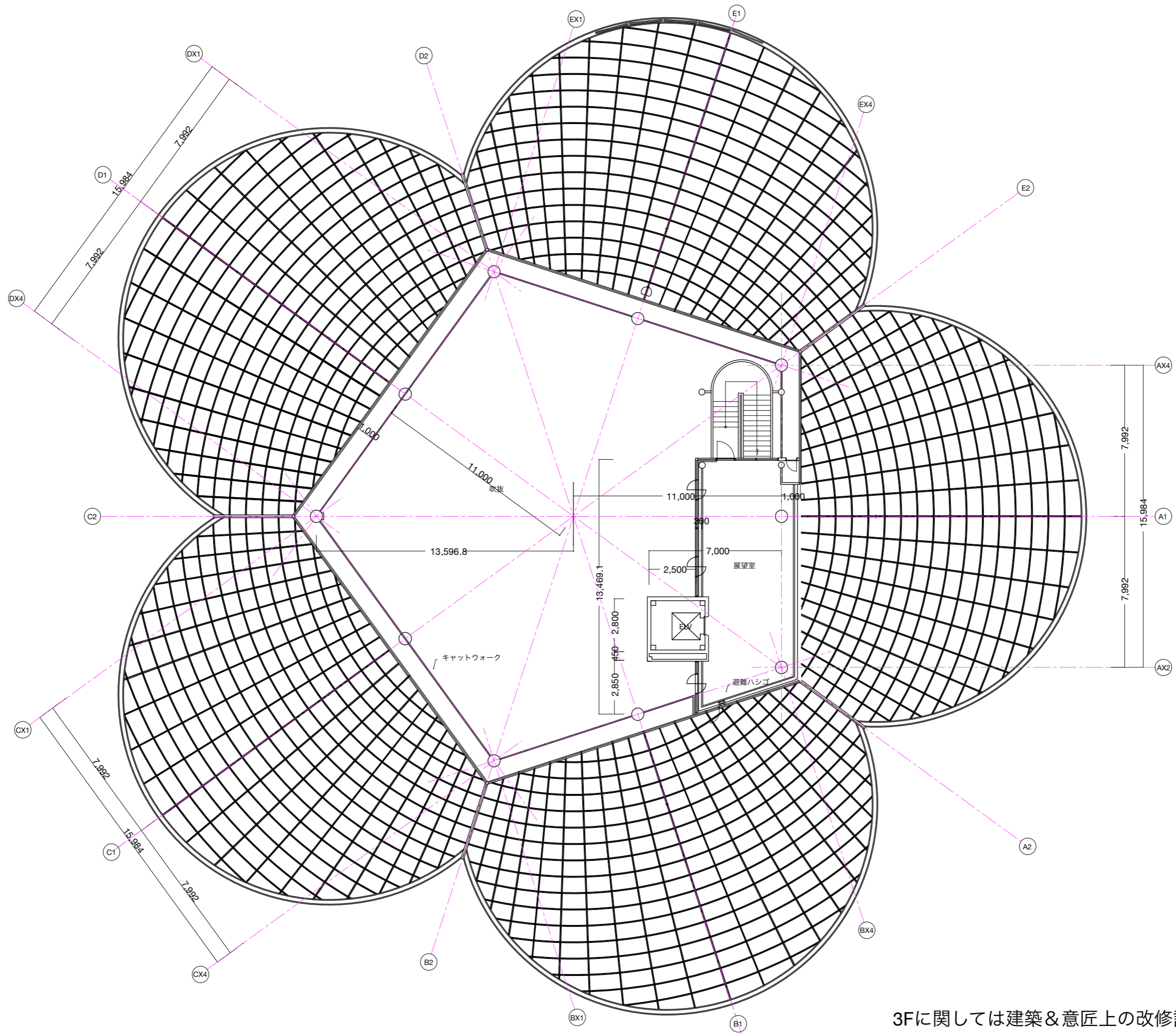


用途変更を要する
改修範囲を示す



現状用途での
改修範囲を示す

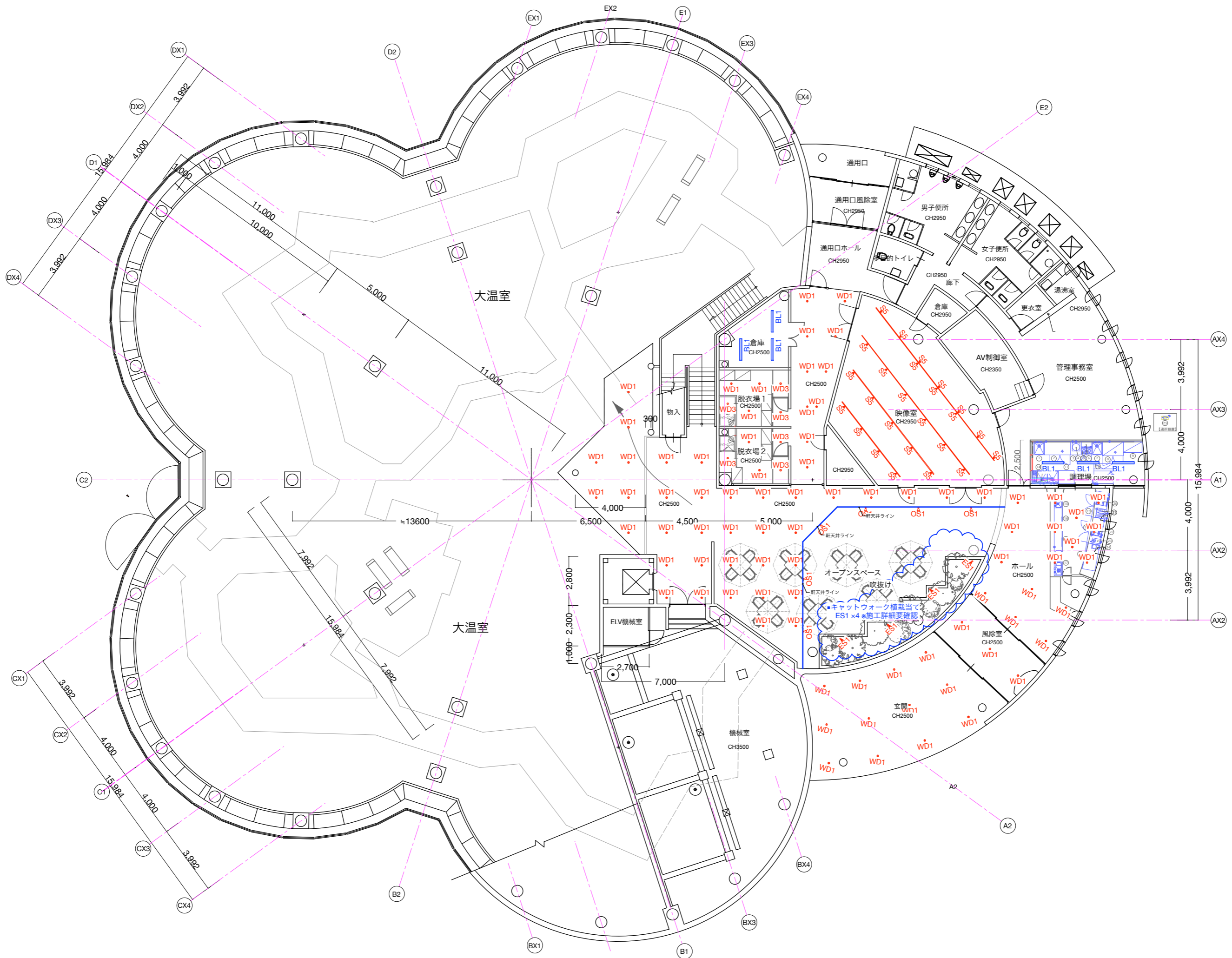
使用用途変更を行う改修範囲 床面積	
1F	
ホール	53.13m ²
調理場	17.26m ²
倉庫・脱衣場	40.66m ²
2F	
サウナエリア	80.39m ²
1F+2F合計	191.44m ²
191.44m ² < 200m ²	OK
今回は下記基準に値しない床面積となるので 確認申請における用途変更は不要とする	
建築基準法第6条1項1号別表第一(イ)欄に 掲げる用途に供する特殊建築物で その用途に供する部分の床面積の合計が 二百平方メートルを超えるもの	

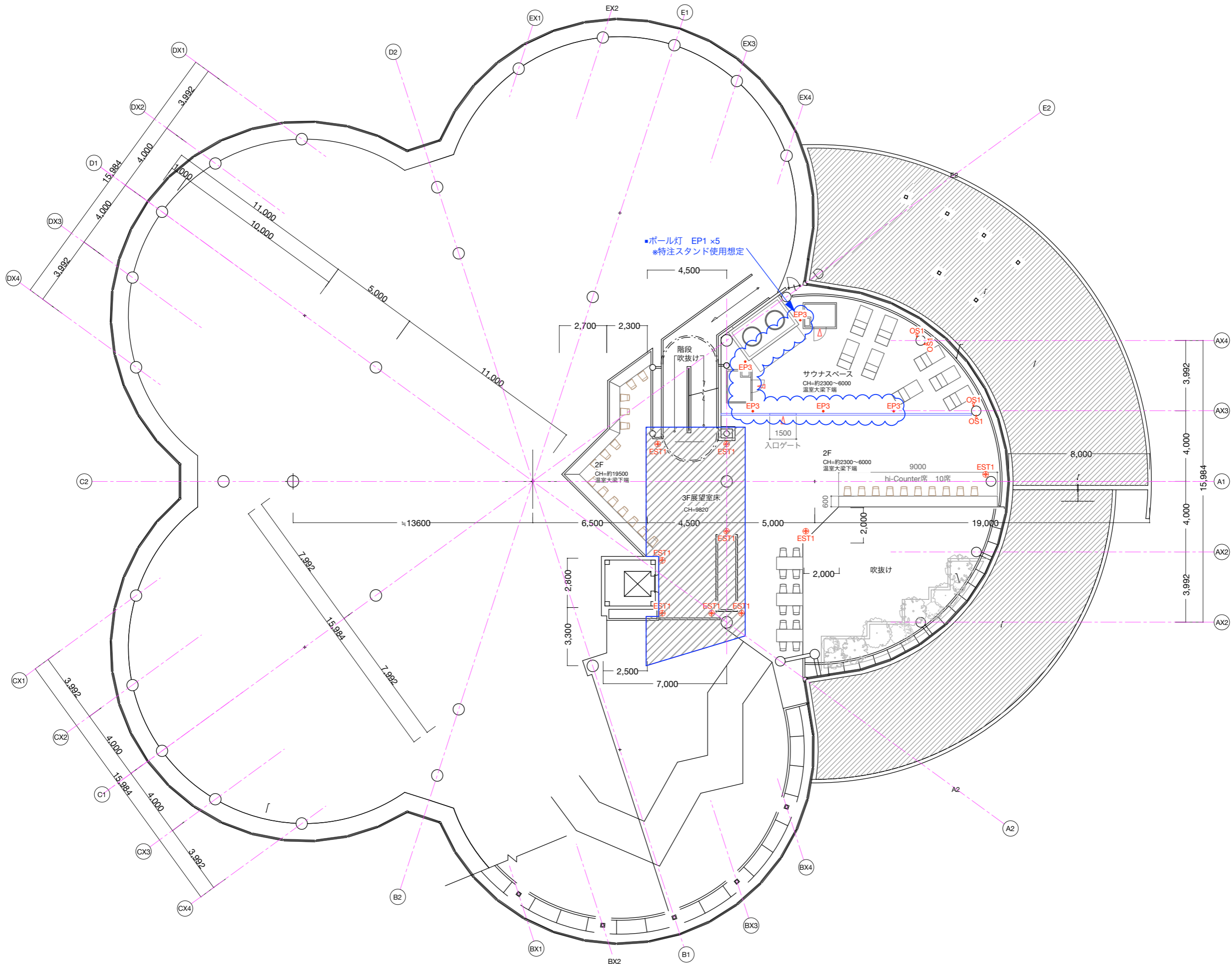


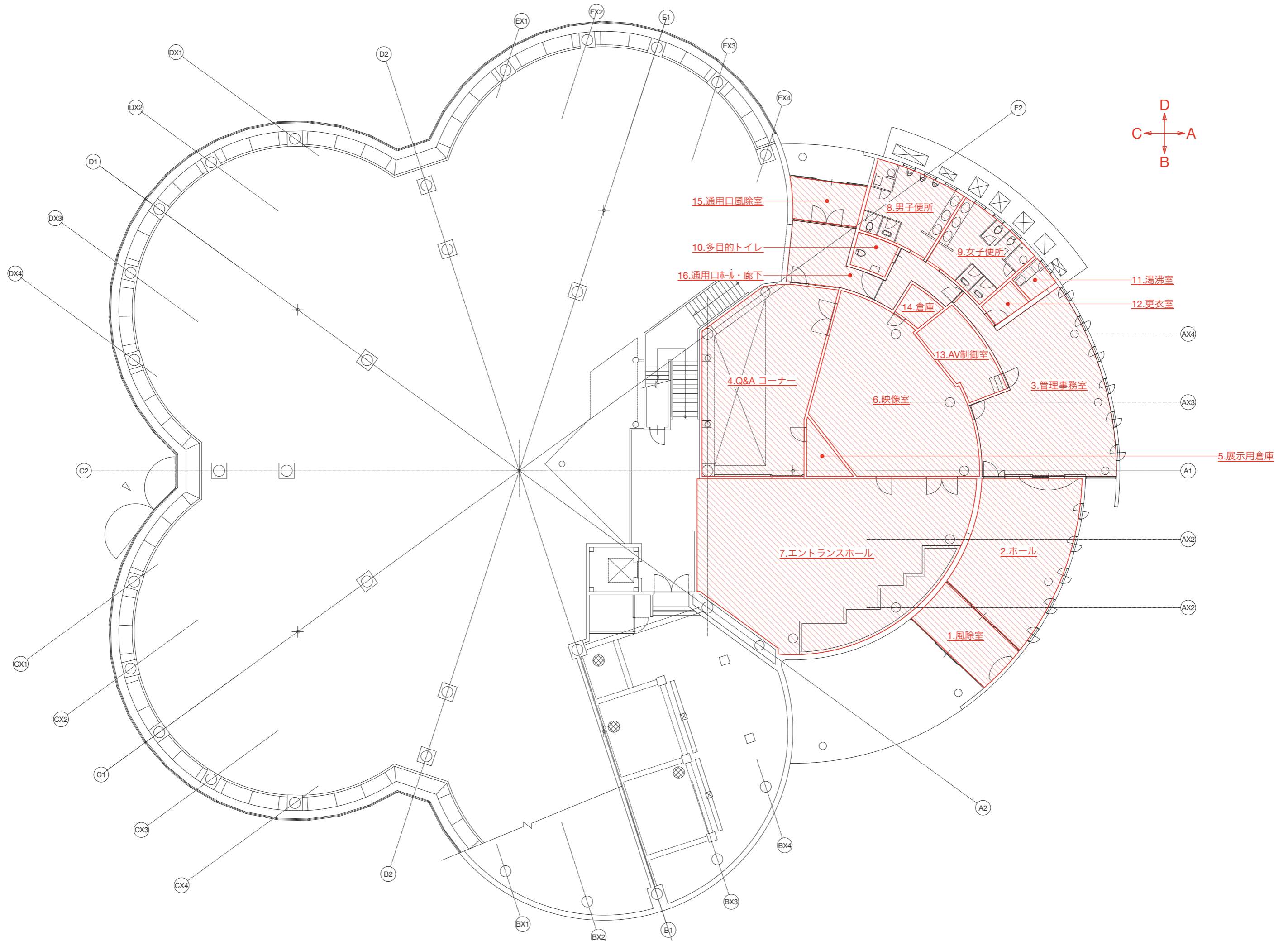
改修範囲を示す

3Fに関しては建築&意匠上の改修計画は無し

SEMBA	株式会社 船場	■NOTE	■DATE REVISION	■NOTE	■DATE REVISION	■DESIGNED	■CHECKED	■TITLE	■SUBJECT	■SCALE	■NO.
	SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	作成	2024/03/26				H.MARUYAMA				
						■DRAWN		茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ポタニカルカフェ(熱帯植物園)改修計画	3F平面図 (改修)	S=1/200	A-10

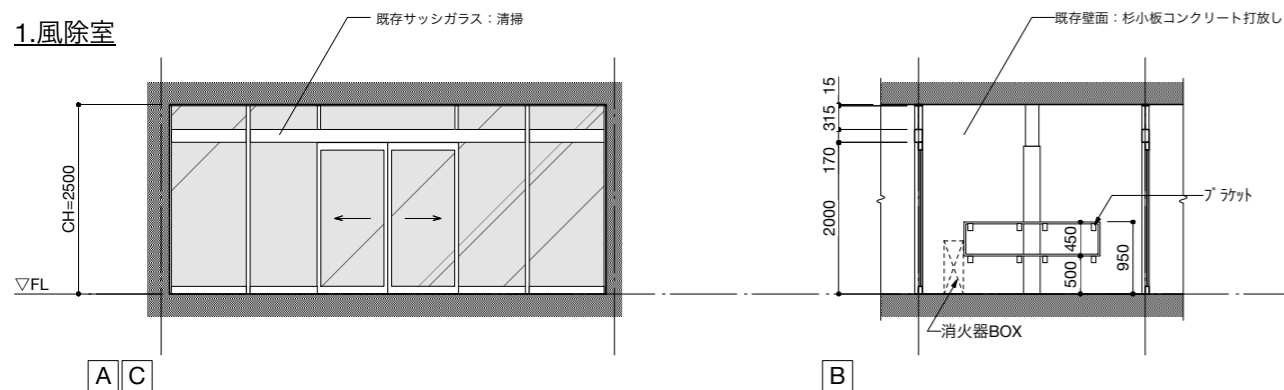




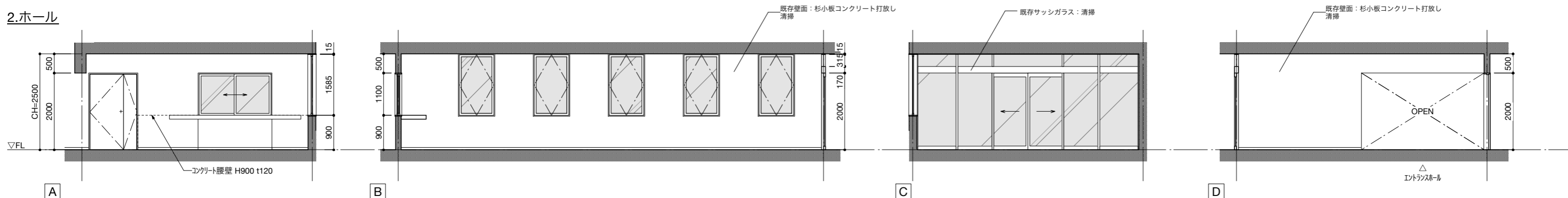


	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE 	■DATE REVISION 	■NOTE 	■DATE REVISION 	■DESIGNED 	■DRAWN 	■CHECKED H.MARUYAMA ■DATE 2024/03/12	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 1F展開キープラン (既存)	■SCALE S=1/200	■NO. A-13
	1F展開キープラン (既存)											

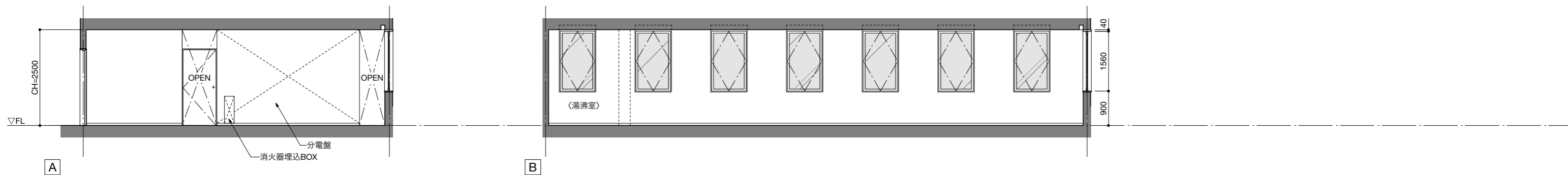
1.風除室



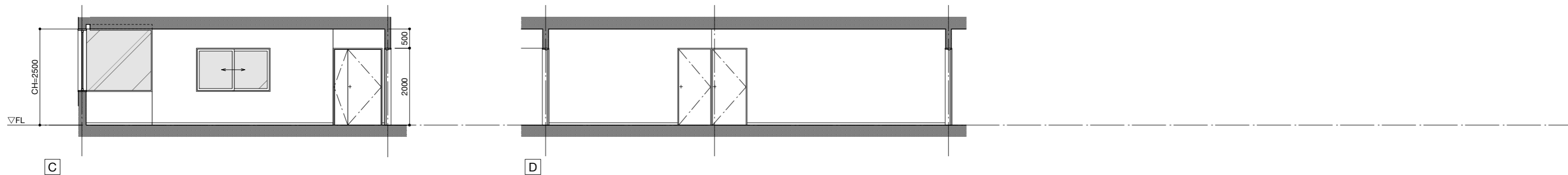
2.ホール



3.管理事務室

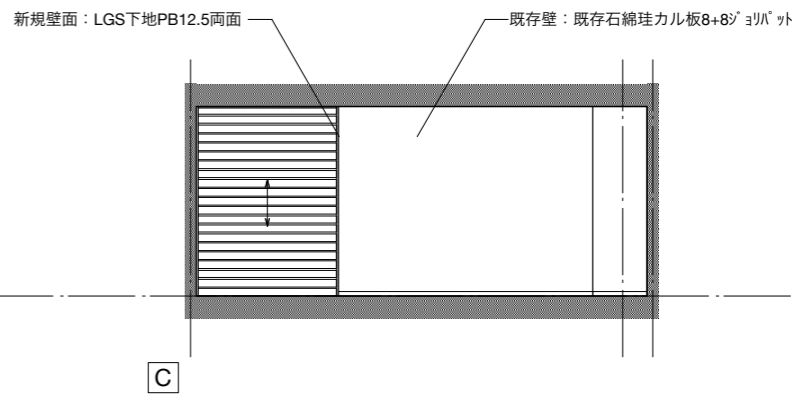
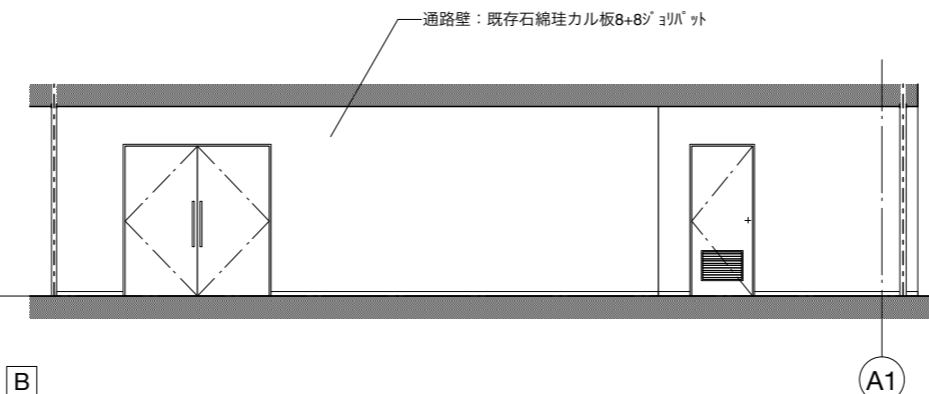
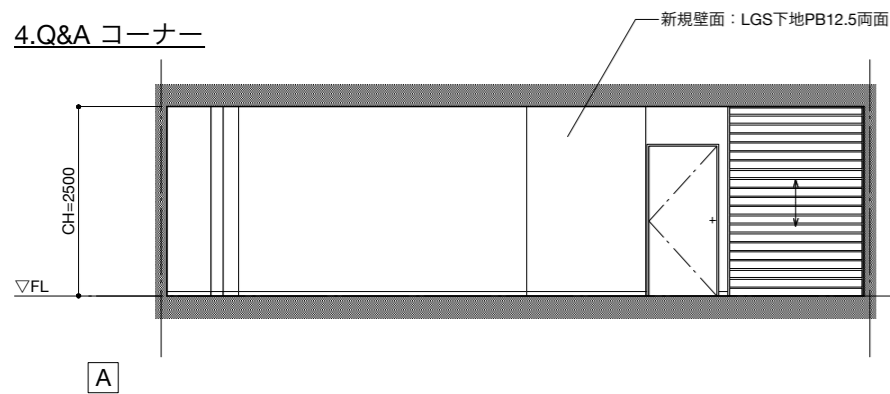


3.管理事務室

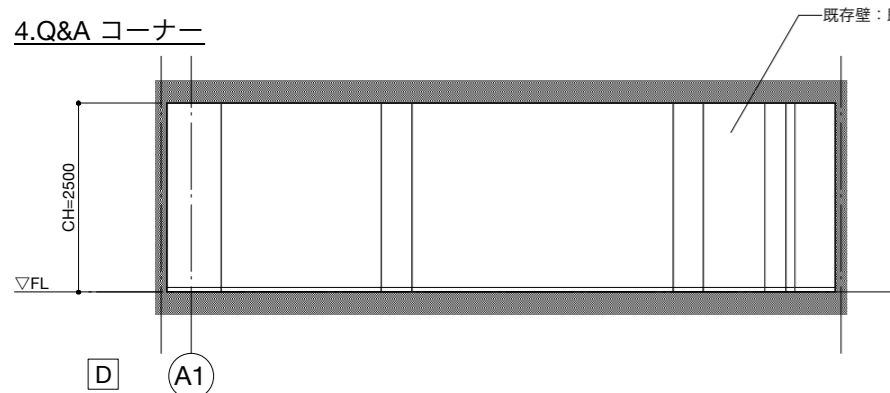


	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE	■DATE REVISION	■NOTE	■DATE REVISION	■DESIGNED	■CHECKED H.MARUYAMA	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ポタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 1F展開図-1 (既存)	■SCALE S=1/100	■NO. A-14
		■DRAWN	■DATE 2024/03/12								

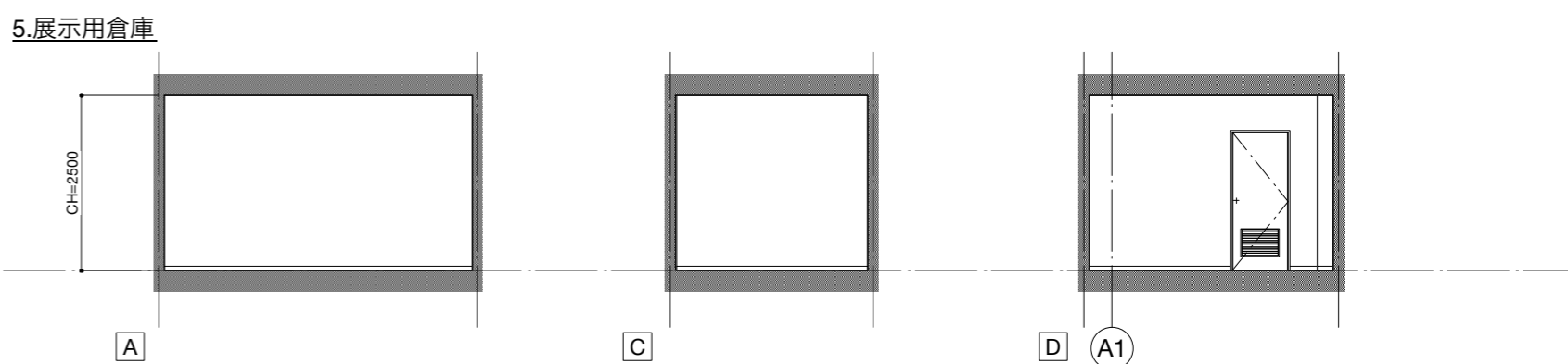
4.Q&A コーナー



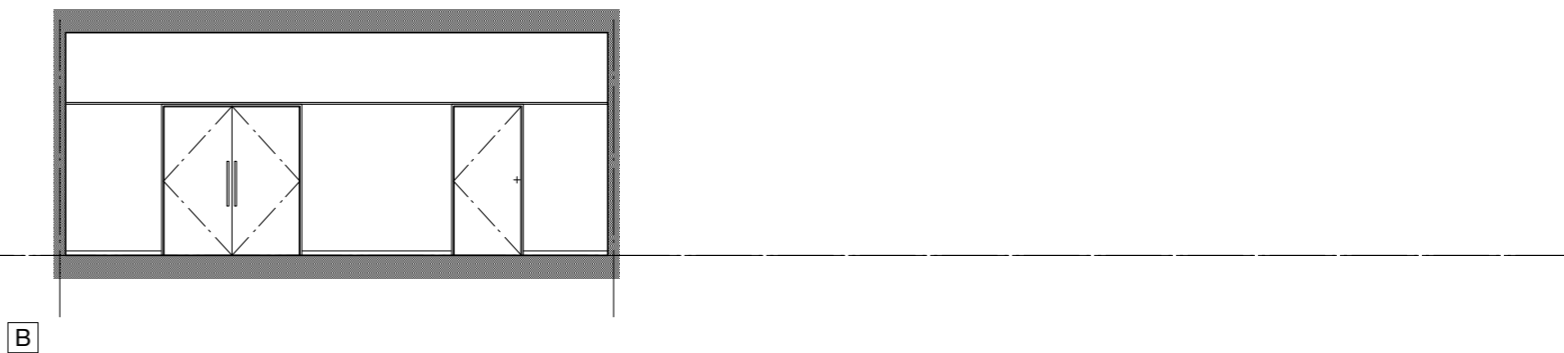
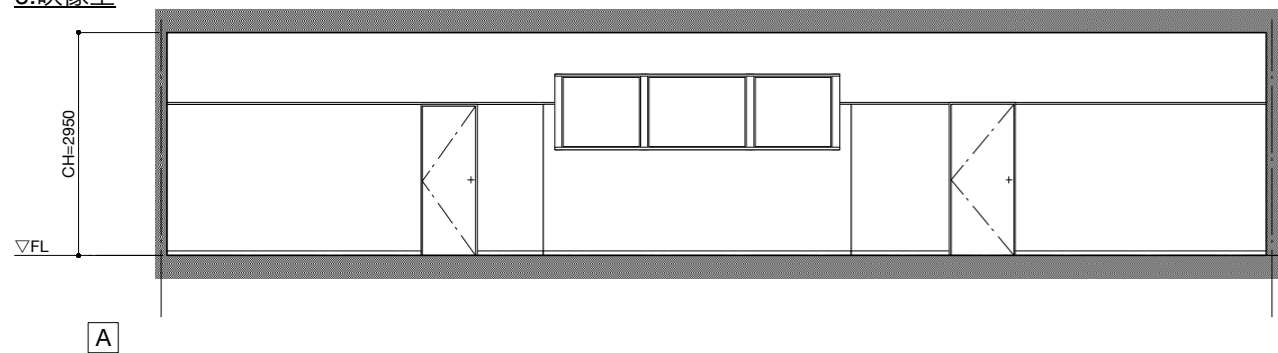
4.Q&A コーナー



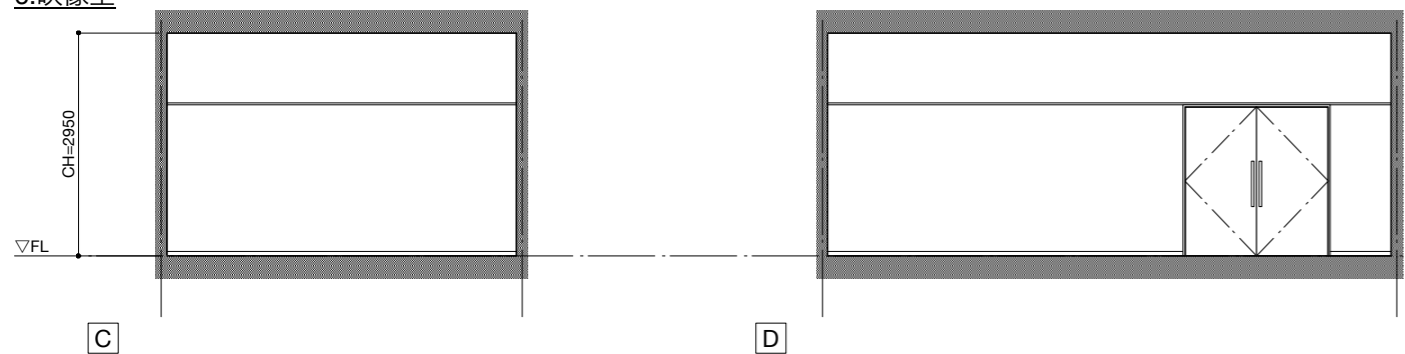
5.展示用倉庫



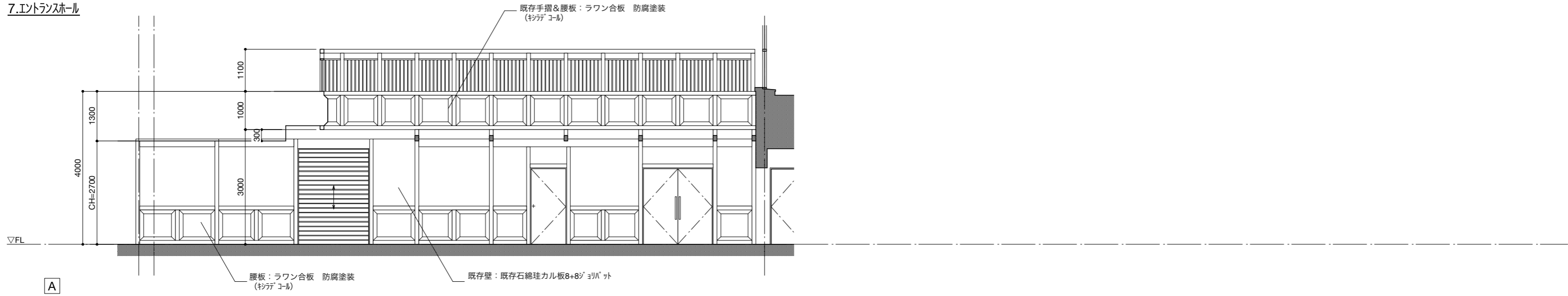
6.映像室



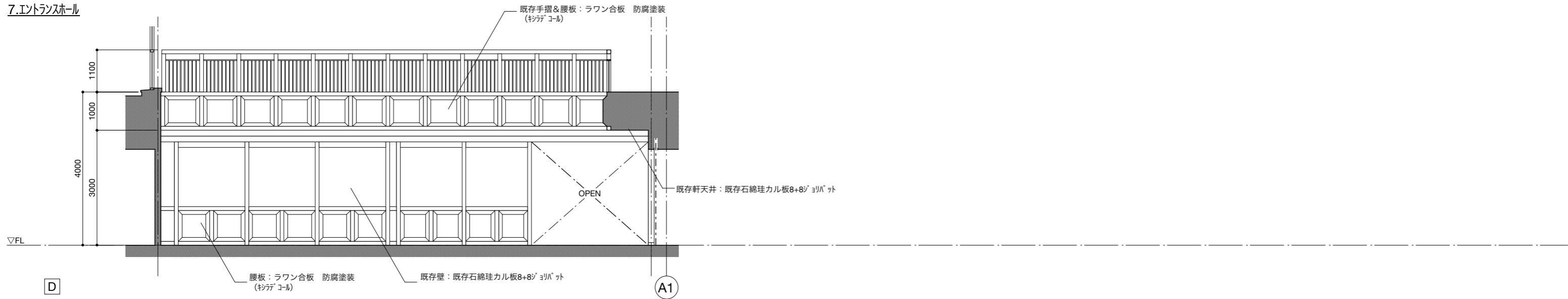
6.映像室



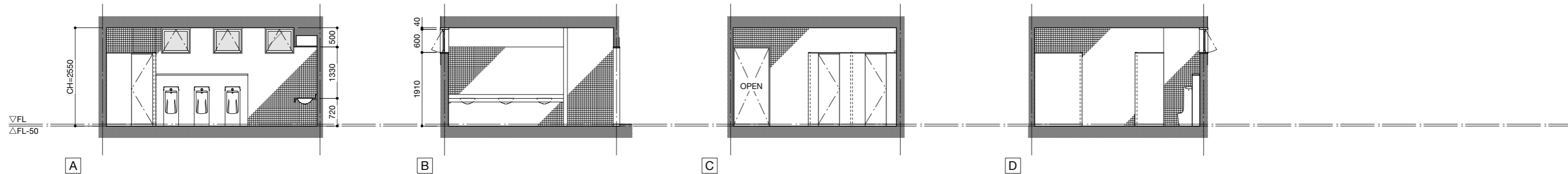
7.エントランスホール



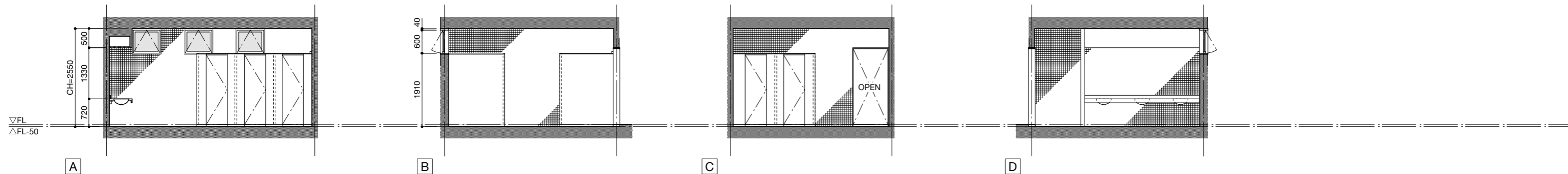
7.エントランスホール



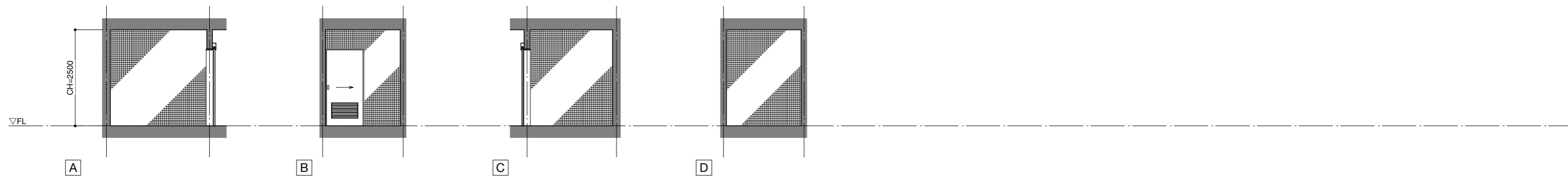
8.男子便所



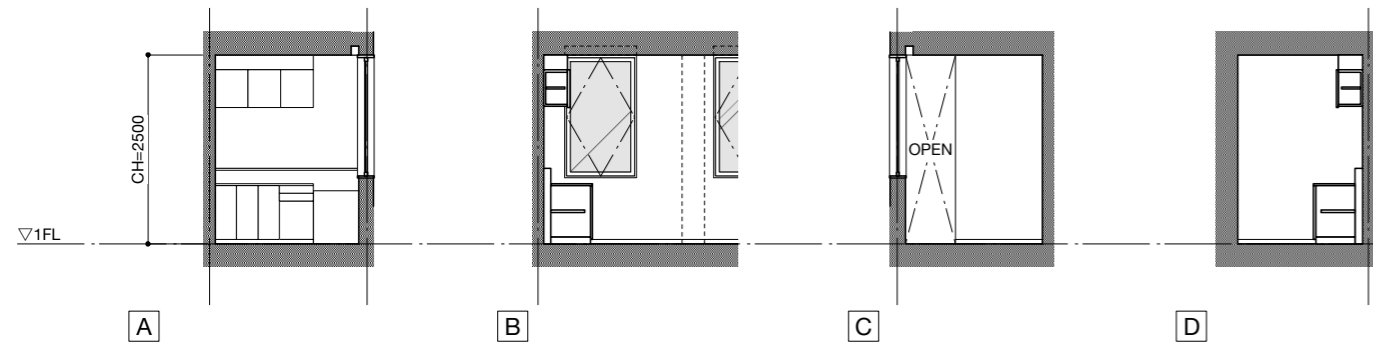
9.女子便所



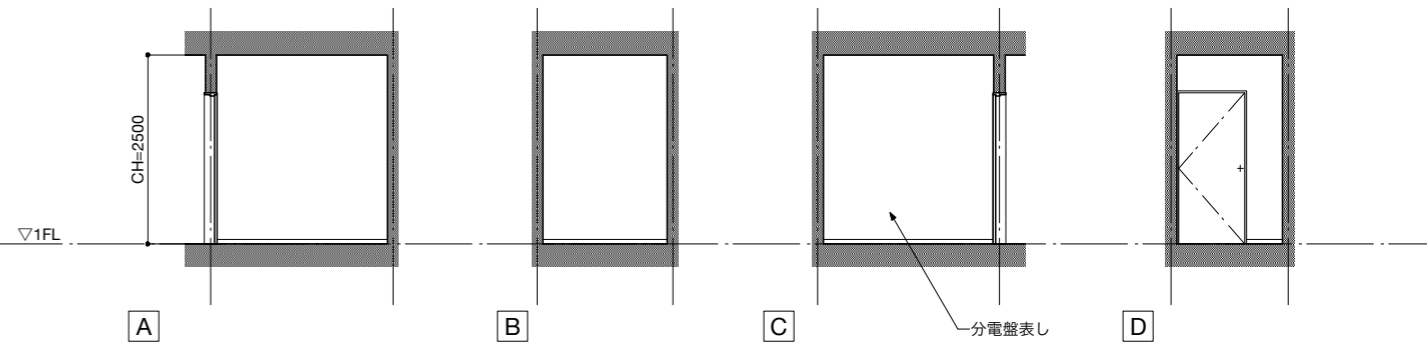
10.多目的トイレ



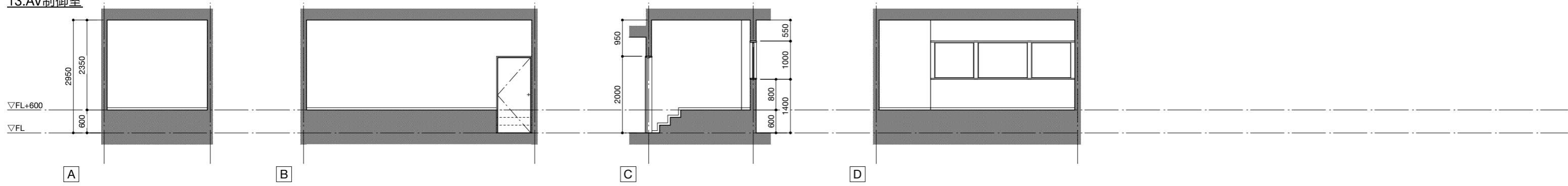
11.湯沸室



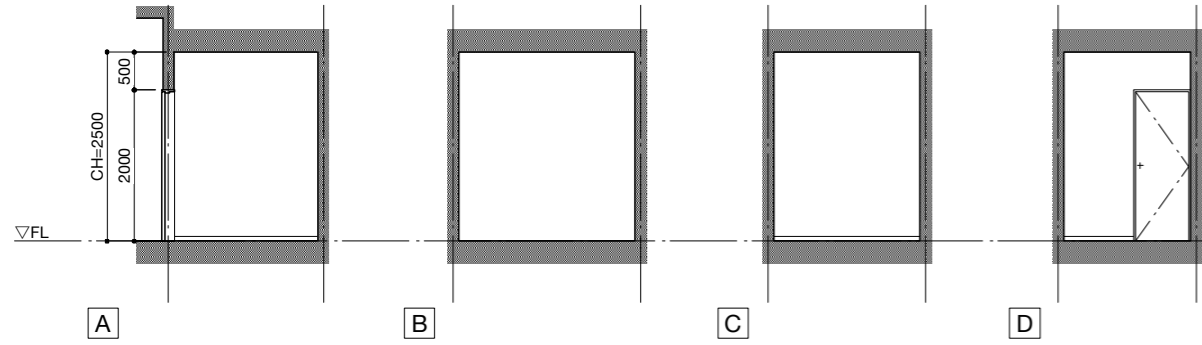
12.更衣室



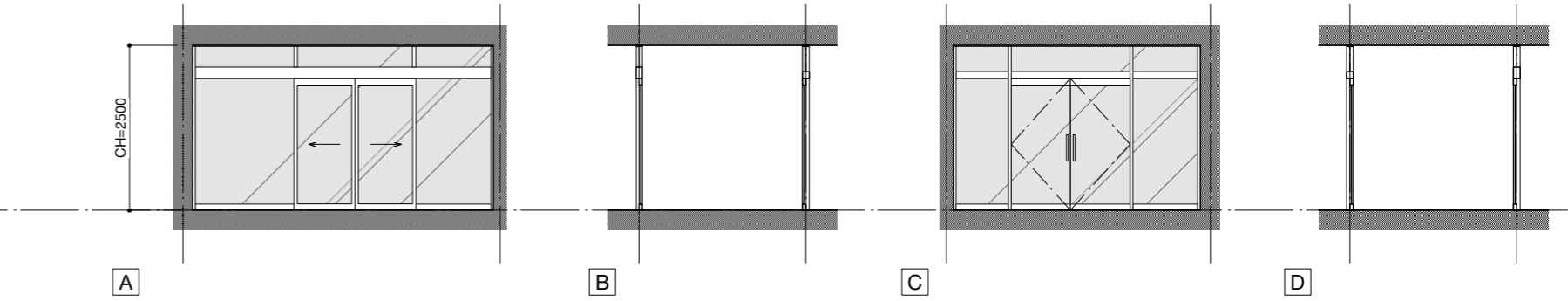
13.AV制御室



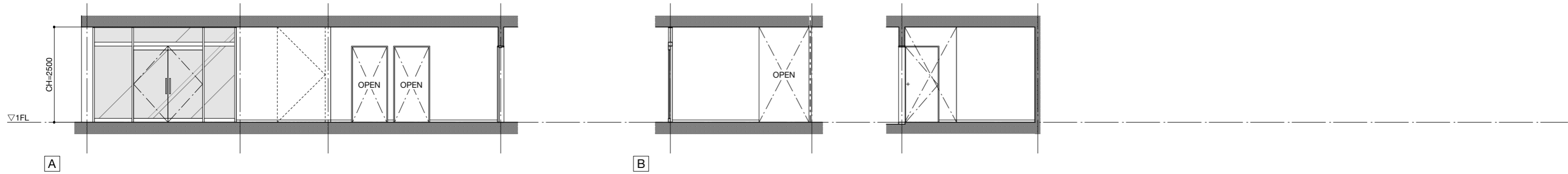
14.倉庫



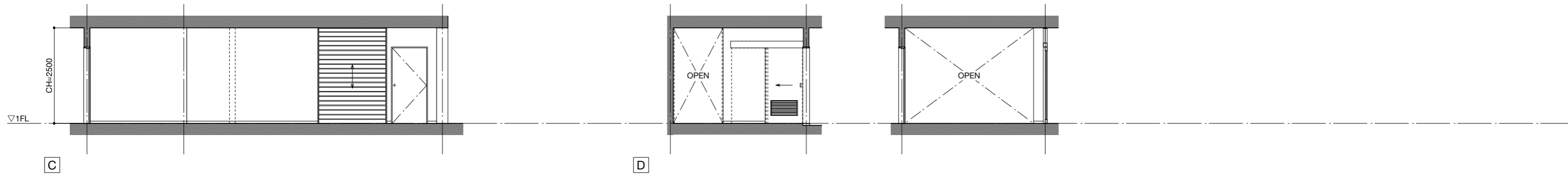
15.通用口風除室

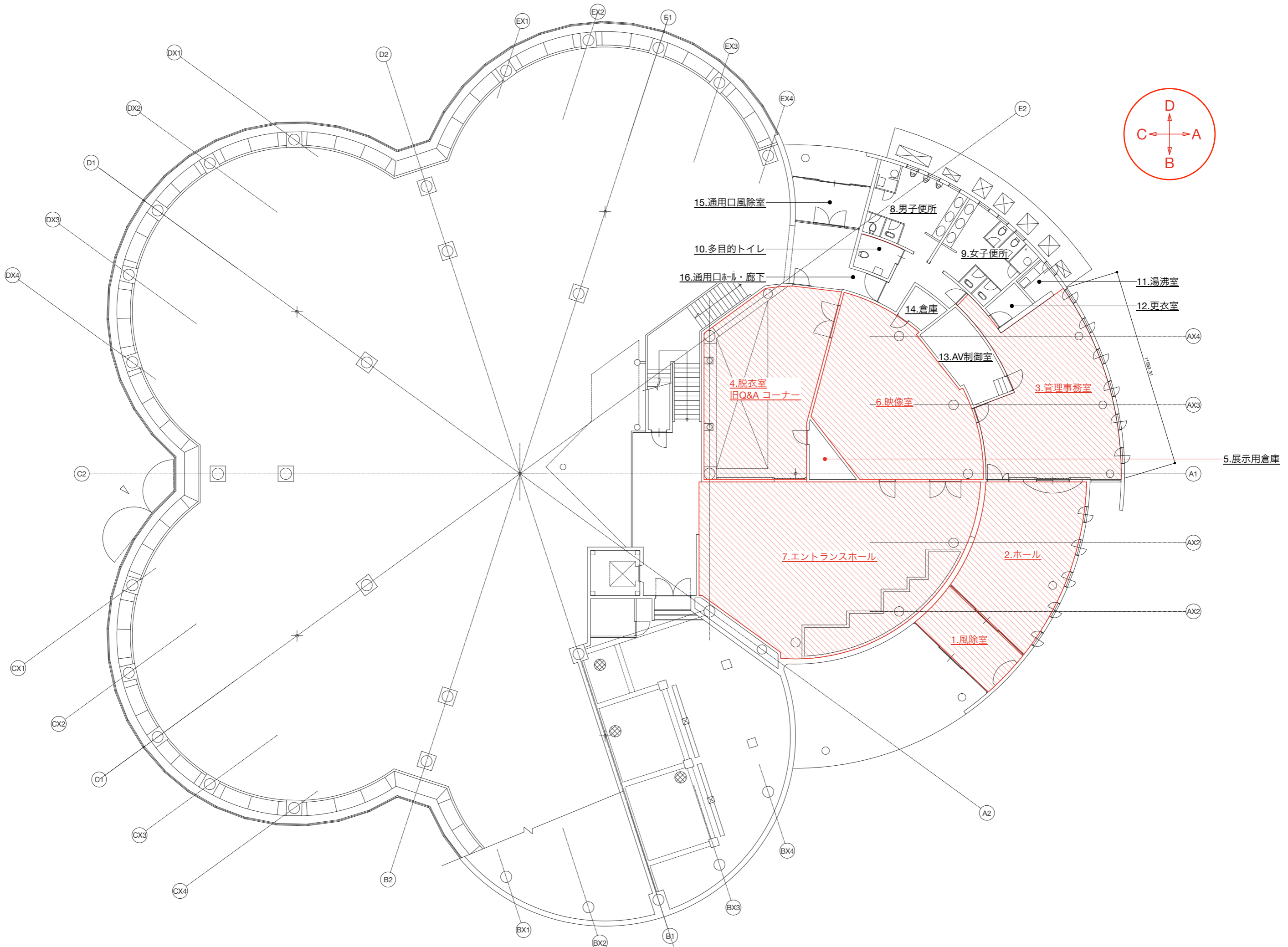


16.通用口ホール・廊下



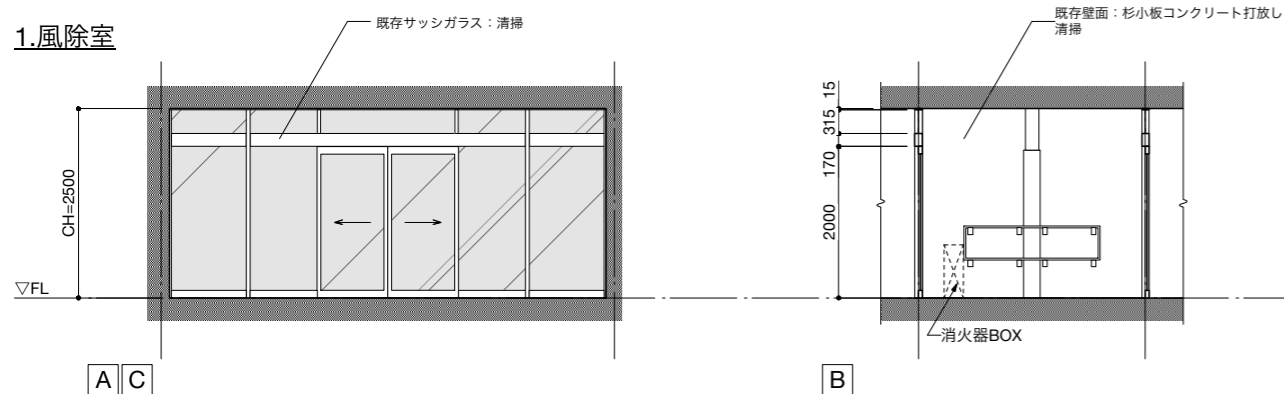
16.通用口ホール・廊下



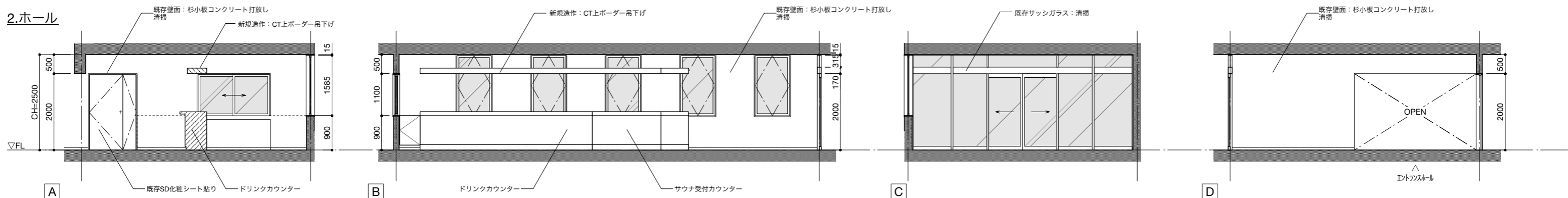


	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE 	■DATE REVISION 	■NOTE 	■DATE REVISION 	■DESIGNED H.MARUYAMA ■DRAWN 	■CHECKED H.MARUYAMA ■DATE 2024/03/26	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 1F展開キープラン (改修)	■SCALE S=1/200	■NO. A-19
	1F展開キープラン (改修)										

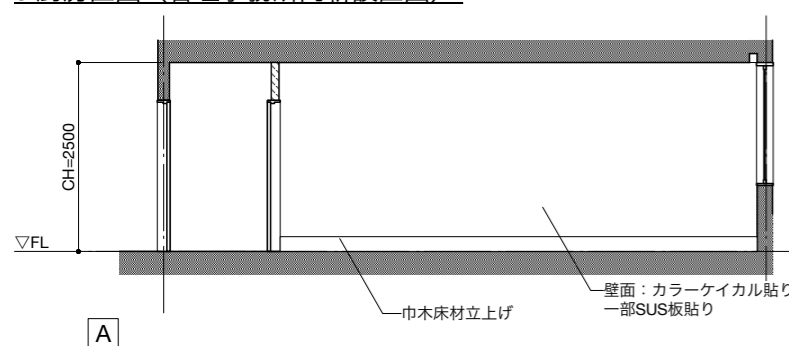
1.風除室



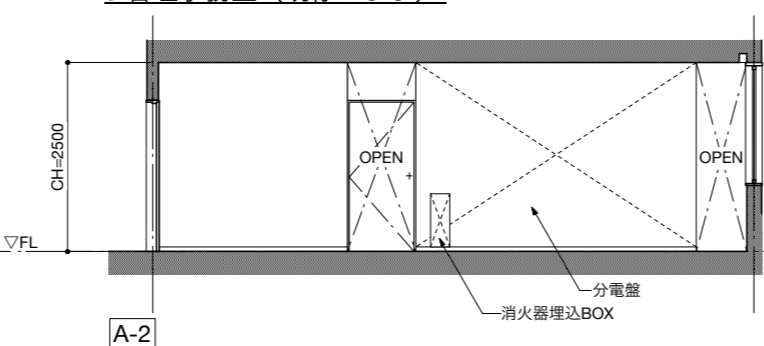
2.ホール



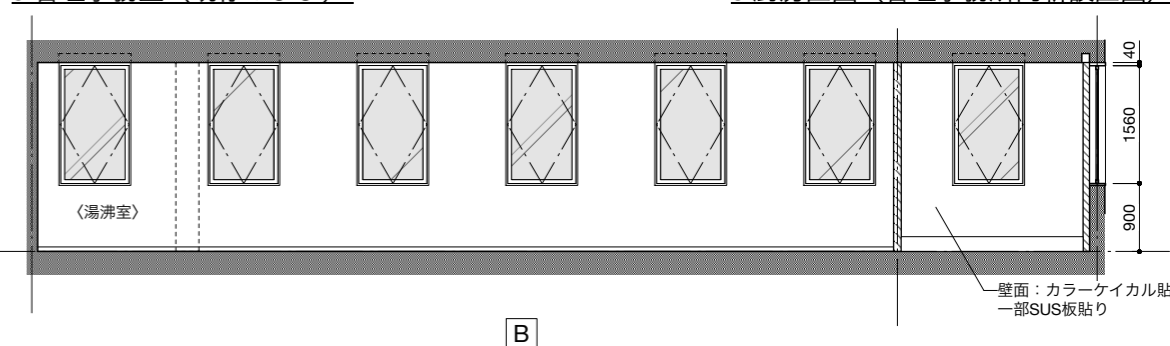
3.厨房区画 (管理事務所内新設区画)



3.管理事務室 (既存のまま)

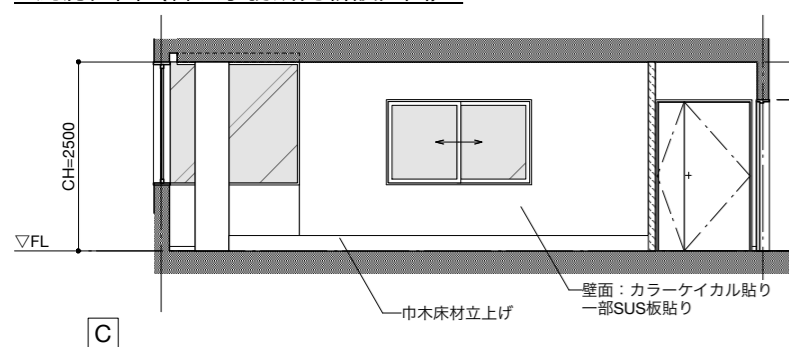


3.管理事務室 (既存のまま)

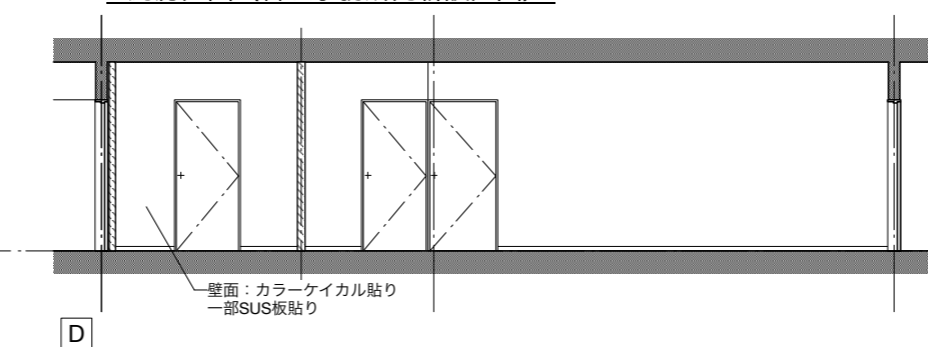


3.厨房区画 (管理事務所内新設区画)

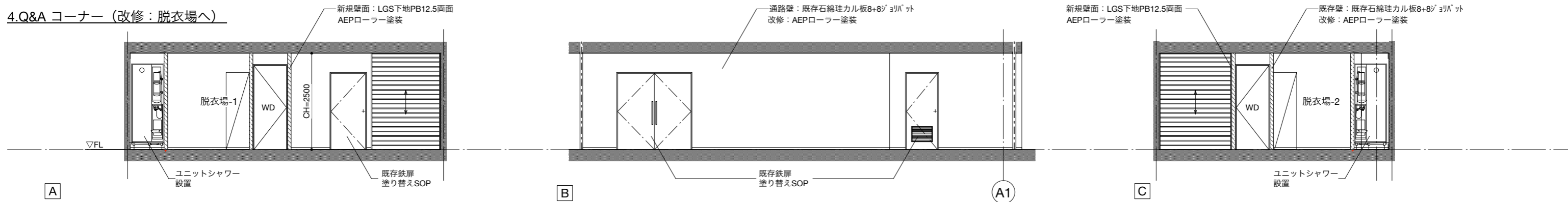
3.厨房区画 (管理事務所内新設区画)



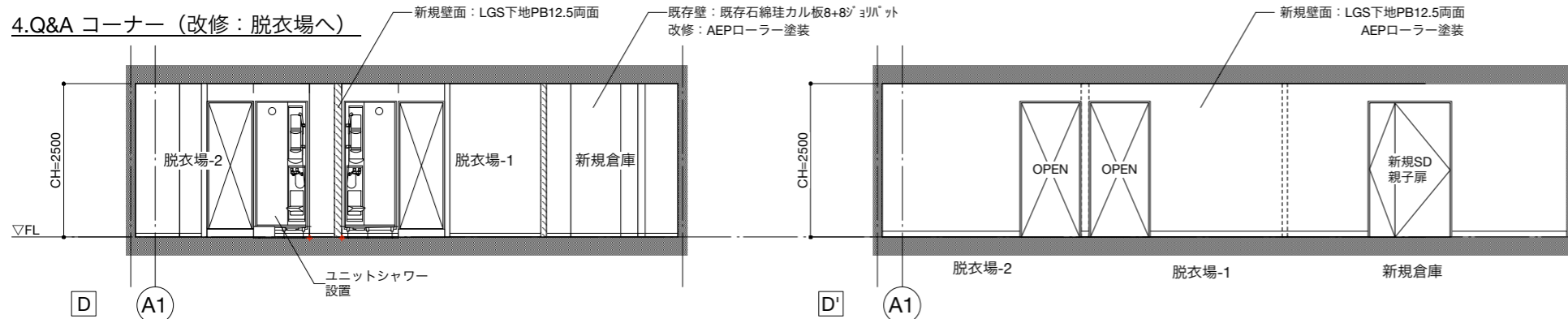
3.厨房区画 (管理事務所内新設区画)



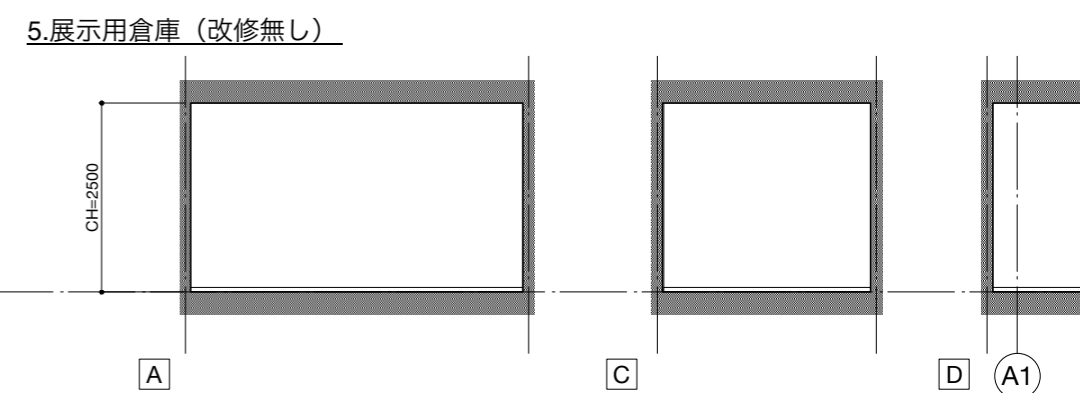
4.Q&A コーナー (改修: 脱衣場へ)



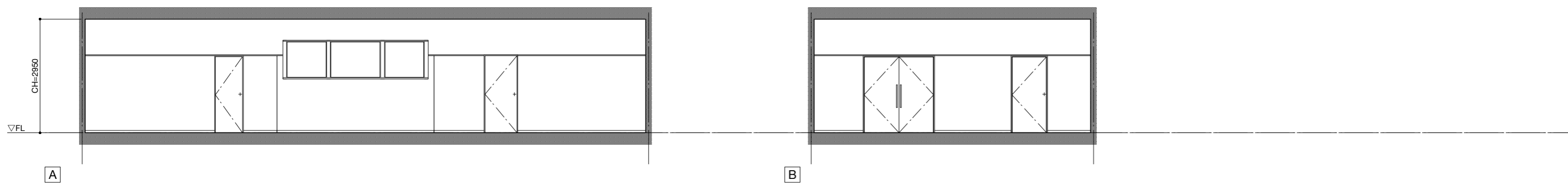
4.Q&A コーナー (改修: 脱衣場へ)



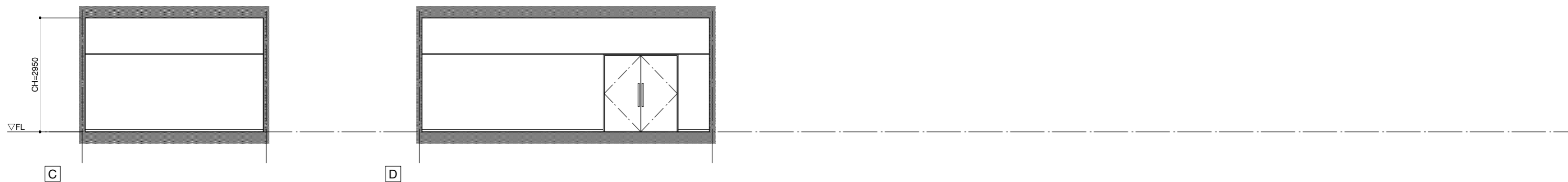
5.展示用倉庫 (改修無し)



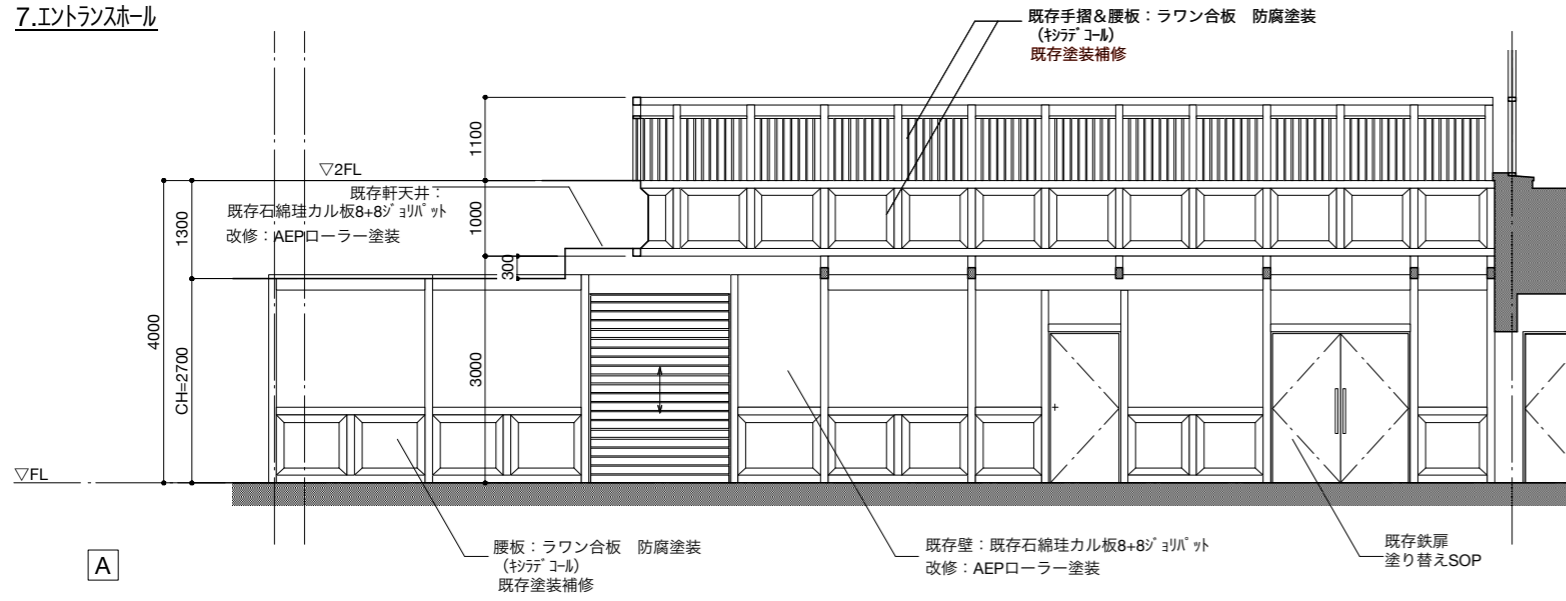
6.映像室 (改修無し 但し照明追加有)



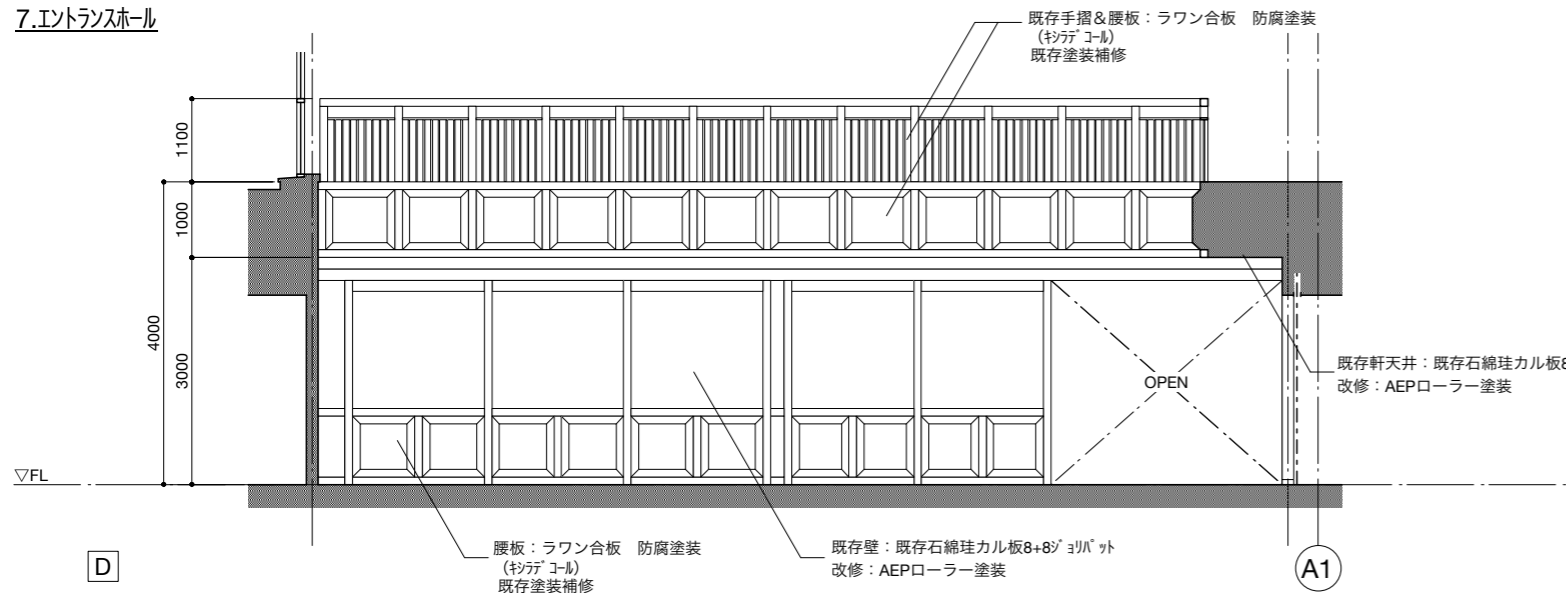
6.映像室 (改修無し 但し照明追加有)

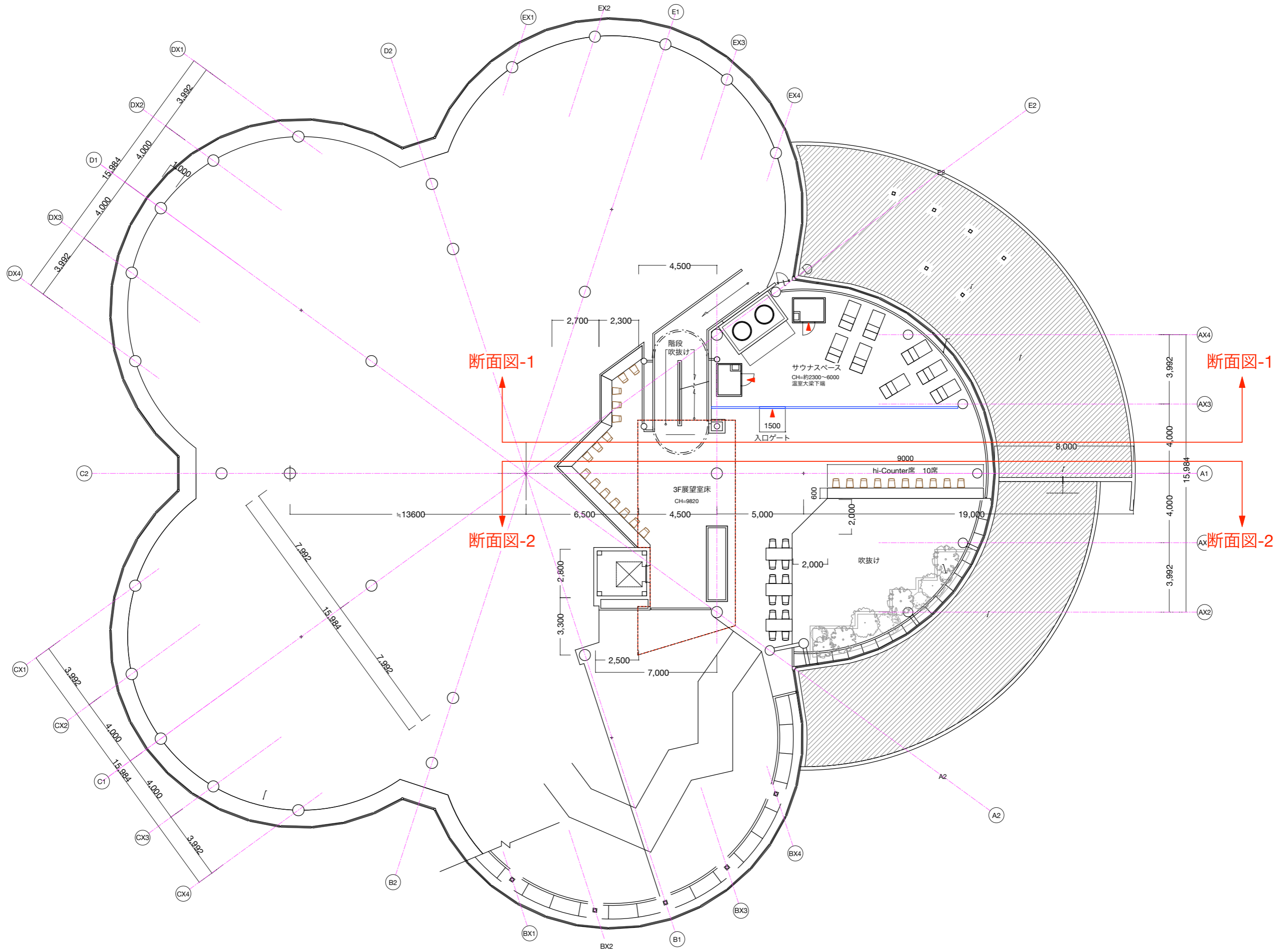


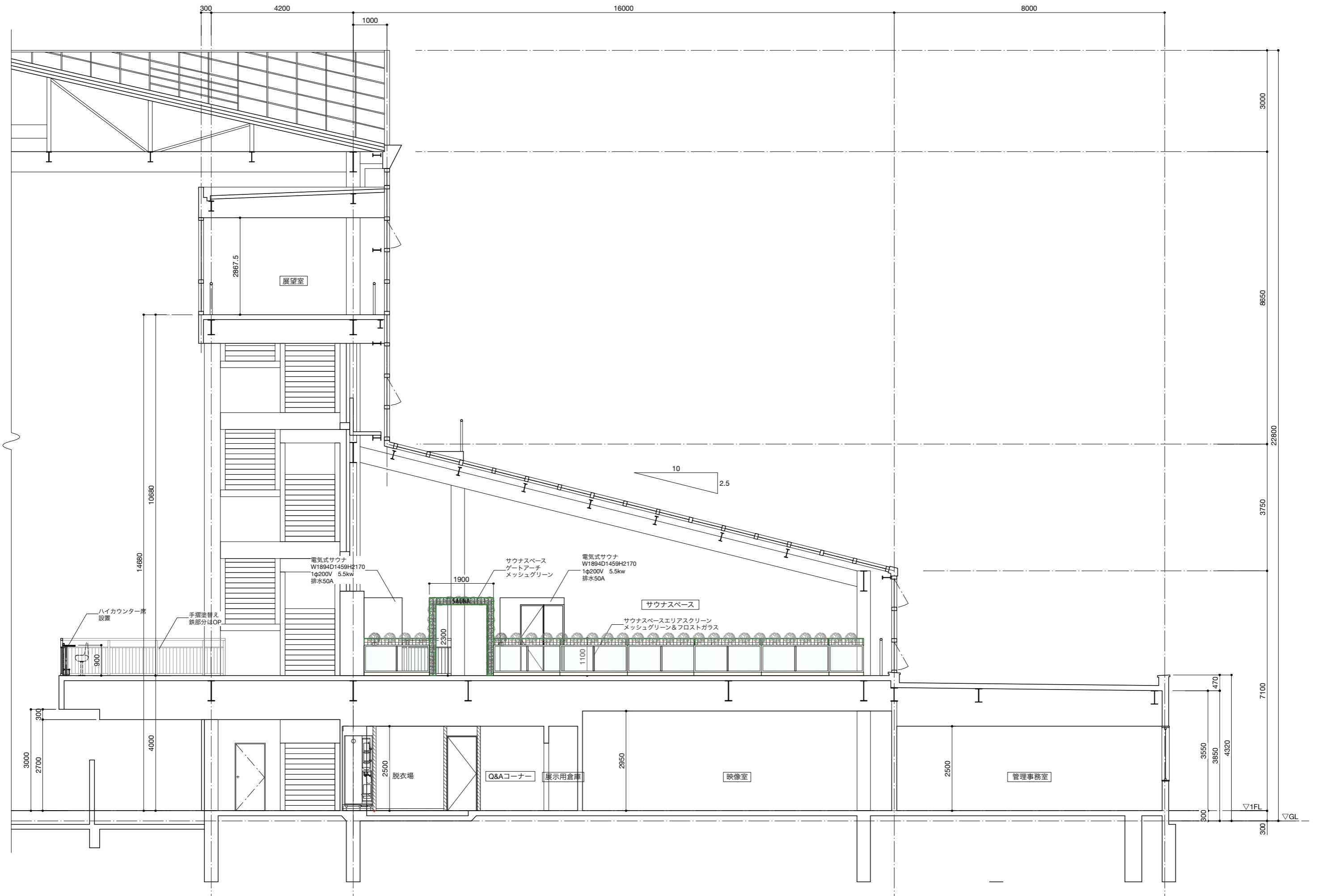
7.エントランスホール



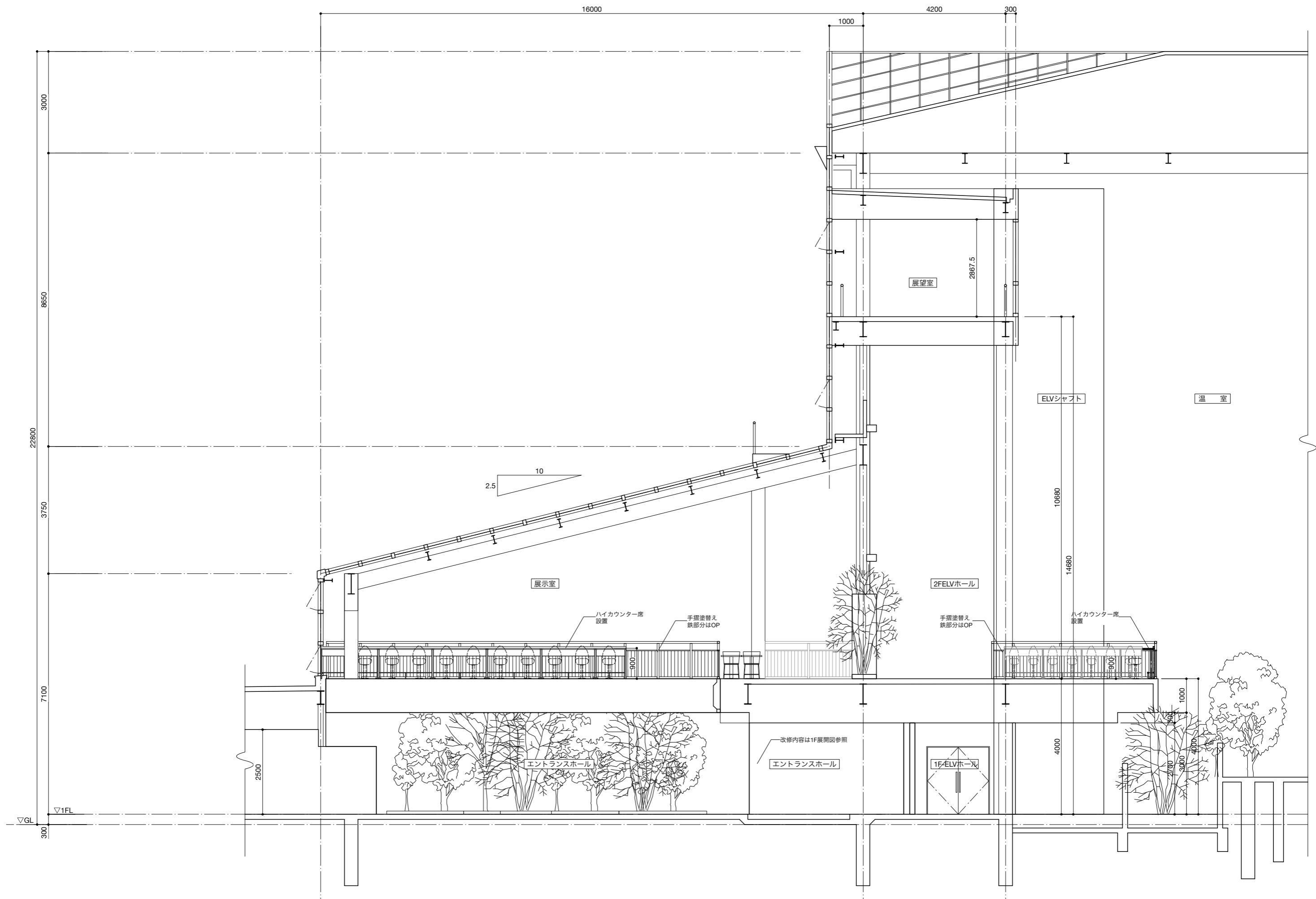
7.エントランスホール







	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE 	■DATE REVISION 	■NOTE 	■DATE REVISION 	■DESIGNED 	■CHECKED 	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 2F 断面図-1 (改修)	■SCALE S=1/100	■NO. A-24
	■DRAWN 	■DATE 2024/03/26									



	株式会社 船場 SEMBA CORPORATION 登録番号 第35901号 (東京)	■NOTE ■DATE REVISION ■NOTE ■DATE REVISION	■DESIGNED ■DRAWN	■CHECKED ■DATE 2024/03/26	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 2F断面図-2 (改修)	■SCALE S=1/100	■NO. A-25
	■NOTE ■DATE REVISION ■NOTE ■DATE REVISION	■DESIGNED ■DRAWN	■CHECKED ■DATE 2024/03/26	■TITLE 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業 ボタニカルカフェ(熱帯植物園)棟改修計画	■SUBJECT 2F断面図-2 (改修)	■SCALE S=1/100	■NO. A-25	

機械設備計画書（1）

- 工事名称 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業
- 工事場所 茨城県那珂市戸4589
- 建物概要 S造・地上3F
- 主要用途 ボタニカルカフェ（熱帯植物園）

□基本方針

1. 用途、機能、規模を把握し、バランスのとれた機能性の高い設備とします。
2. 既設設備を最大限生かした効率的なシステムとします。
3. 周辺環境との調和、建物の美観への配慮をした快適性の高い設備とします。
4. 防災、防犯対策に配慮します。
5. より安全性の高い高品質のシステムとします。
6. 保守、点検、メンテナンスに配慮します。
7. COP（成績係数）を考慮します。

□設備項目

A. 給排水衛生設備

1. 衛生器具設備
2. 給水設備
3. 給湯設備
4. 排水設備
5. 消火設備
6. プロパンガス設備
7. 厨房器具設備（別途工事）

B. 空気調和設備

1. 空気調和設備
 - 1-1 空調機器設備
 - 1-2 空調配管設備
2. 換気設備
 - 2-1 換気機器設備
 - 2-2 換気ダクト設備
3. 排煙設備
 - 3-1 排煙機器設備
 - 3-2 排煙ダクト設備

□別途工事及び項目

1. 消火器
2. 上水道、下水道は既設接続とします。
3. 引渡しまでの上下水道料金

□計画概要

A. 給排水衛生設備

1. 衛生器具設備
 - ・各トイレは、意匠を考慮し決定する。
 - ・多目的トイレ以外の大便秘器に関しては、フラッシュバルブ方式ではなく、短時間満水型のロータンクとする。
 - ・洗面カウンター、鏡、ミニキッチンが建築工事とする。
 - ・日本製を使用する。
2. 給水設備
 - ・井水を有効活用し、飲料用に関する給水は市上水にて供給する。
3. 給湯設備
 - ・各洗面、手洗への給湯は、衛生陶器メーカー製の貯湯式簡易電気温水器にて供給する。
 - ・厨房への給湯は、厨房器具に合わせて、ガス屋外設置型24号程度の瞬間給湯器にて供給する。
4. 排水通気設備
 - ・汚水、雑排水は合流方式とし、各系統毎に直近で屋外排水樹を新設し、既設污水配管系統まで接続する。
 - ・污水主管は敷地西側の市下水道本管まで新たに布設する。
 - ・厨房排水は、厨房器具に見合ったグリーストラップ（屋外設置）を介し、屋外污水樹に接続する。
 - ・脱衣場棟の増設排水は土間のはつりが必要なため、経路を充分検討する。
（雨水配管は既設のまま）
5. 消火設備
 - ・屋内消火栓（既設のまま再利用）
 - ・消火用水槽及び消火ポンプ（既設のまま再利用）
 - ・フード消火（消防との協議による）
6. プロパンガス設備
 - ・厨房設備及び給湯設備用としプロパンガスを供給する。
 - ・ガスボンベの形状、本数は使用量と補充頻度を考慮して決定する。
7. 厨房器具設備（別途工事）
 - ・別途厨房設備機器への、給水・給湯・排水・ガス配管を供給する。

機械設備計画書（2）

□計画概要

B. 空気調和設備

1. 空気調和設備

1-1 空調機器設備

- ・現在、大温室の暖房設備が施されており、必要最低限の空調機器を設置する。
- ・改修部は天井カセット形ヒートポンプエアコンとする。
- ・大温室の中の施設という性質上、冷房設備はあまり効きすぎないように配慮する。
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

1-2 空調配管設備

- ・空調機器の新設に伴い、冷媒配管及びドレン配管は温室内に露出配管とする。
- ・露出配管はラッキング仕上げとし、周辺に溶け込んだ色仕上げを配慮する。
- ・
- ・
- ・

2. 換気設備

2-1 換気機器設備

- ・今回改修エリアに関しては既設設備と兼ね合いにより、必要に応じ増設するものとします。
- ・
- ・
- ・
- ・

2-2 換気ダクト設備

- ・今回改修エリアに関しては既設設備と兼ね合いにより、必要に応じ増設するものとします。
- ・温室という湿度の高い施設の性質上、使用ダクトはSUSダクトを採用します。
- ・
- ・
- ・

3. 排煙設備

- ・温室全体の排煙設備を行う（自然排煙、既設再利用）

3-1 排煙機器設備

- ・各部必要部位に排煙窓（オペレータ共）設置（既設再利用）

3-2 排煙ダクト設備

- ・自然排煙により、排煙ダクト設備は無し。（既設のまま）

電気設備計画書（1）

□工事名称 茨城県植物園・県民の森リニューアル事業
□工事場所 茨城県那珂市戸4589
□建物概要 S造・地上2F（既存施設）
□主要用途 植物園

□基本方針

1. 用途、機能、規模を把握し、バランスのとれた機能性の高い設備とします。
2. 将来対応の容易な汎用品を使用したシステムとします。
3. 周辺環境との調和、建物美観への配慮をした快適性の高い設備とします。
4. 防災、防犯対策を行った設備とします。
5. 省エネルギー性の高い設備とします。
6. より安全性の高い高品質のシステムとします。
7. 保守、点検、メンテナンスに配慮した計画を行います。

□設備項目

1. 受変電設備工事
2. 幹線設備工事
3. 動力設備工事
4. 電灯・コンセント設備工事
5. 電話配管配線設備工事
6. 情報用配管配線設備工事
7. BGM設備工事
8. 防犯・監視カメラ設備工事
9. 自動火災設備工事

□計画概要

1. 受変電設備工事
 - ・既設植物園キュービクルより電灯分電盤、動力制御盤及び各種電源盤へ電源供給します。
 - ・容量増に対応する為、動力変圧器の入替を見込みます。
2. 幹線設備工事
 - ・既設植物園キュービクルより電灯分電盤、動力制御盤及び各種電源盤へ電源供給します。
 - 1) 電気方式 電灯用 210V/105V 50HZ
動力用 210V 50HZ
 - 2) 配線方式 ケーブル配線・ケーブルラック・電線管で保護。
 - 3) 使用電線 一般ケーブル
 - 4) その他 防火区画貫通部は国土交通大臣認定工法により防火区画貫通処理を施します。
 - 5) 計量 子メーターで計量。
3. 動力設備工事
 - ・動力制御盤から空調、衛生動力、及びその他機器への電源供給と電動機の保護、及び運転制御を行います。
 - 1) 電気方式 3相3線 210V 50HZ
 - 2) 配線方式 ケーブル配線・ケーブルラック・電線管で保護。
 - 3) 使用電線 一般ケーブル EM-CE EM-CETケーブル
 - 4) 監視 一般ケーブル 警報盤を事務室に設置。
4. 電灯コンセント設備工事
 - ・電灯分電盤・照明器具、コンセント、点滅器等の取付と配線を行います。
 - ・照明方式は消費電力を抑える為、LEDによる全体照明を主体とし照明計画については、別途照明計画図面による。
 - 1) 照度基準 JIS Z9110:2010を参考として、目的・用途に応じた照明計画を行います。
 - 2) 電気方式 一般照明 1相2線 210V又は、105V 50HZ
コンセント 1相2線 210V又は、105V 50HZ
 - 3) 分電盤 メンテナンスが容易な場所及び建築意匠と調和のとれた場所に設置します。
 - 4) コンセント 各室に機器用及び一般用のコンセントを設置し、原則として壁付を主体に設置します。
 - 5) 照明器具 光源は省エネルギー及び保守性を考慮して、LEDを中心にした計画を行います。
省エネルギー及び電球交換の低減を図り、ライフサイクルコストの最小化を考慮した計画を行います。
 - 6) 防災照明 非常照明 電池内臓型 (建築基準法に準拠)
誘導灯 電池内臓型 (消防法に準拠)
 - 7) 点滅 リモコン制御による個別点滅制御及び集中心点滅制御を出来るものとします。

5. 電話配管配線設備工事

・棟内端子盤より事務室に配線及び電話用アウトレットを設置する。

- 1) 配線方式 電子ボタン電話ケーブル (EBT) +PF電線管
- 2) アウトレット事務室に電話用モジュージャックを設置し原則として壁付を主体に設置します。
- 3) 別途工事 モジュージャック以降の端末機器 (電話機・複合機等) は別途工事とします。

6. 情報用配管配線設備工事

・棟内端子盤より事務室に配線及び情報用アウトレットを設置する。

- 1) 配線方式 EM-UTP (CAT6) + PF電線管
- 2) アウトレット 事務室にLAN用モジュージャックを設置し原則として壁付を主体に設置します。
- 3) 主要機器 LAN機器 (HUB) 及び配線は1000BASE-T対応以上とします。
- 4) 別途工事 サーバー機器及びアウトレット以降の端末機器 (PC等) は別途工事とします。

7. BGM設備工事

- ・事務室に音響システムを設置します。
- ・音響主装置は、ワゴン式とし、主装置と接続可能な接続盤を設置します。

8. 防犯・監視カメラ設備工事

- ・必要箇所にセキュリティー機器を設置します。
- ・監視対象エリアにITVカメラを設置します。

9. 自動火災報知設備工事

- ・消防法に準拠し設置します。
- ・間仕切り改造による感知器の設置是正及び配線対応。

